

2024（令和6）年度「学生意識・学習調査」2・3・4年生集計結果

①回答期間：令和6年5月7日～令和6年6月26日

②対象者数：4,943名

③回答数（回答率）：1,003名（20.3%）

④学科別・学年別回答数（回答率）

	2年生	3年生	4年生	合計
経営学科	24名（6.1%）	20名（5.1%）	17名（4.5%）	61名（5.3%）
ホスピタリティ・マネジメント学科	57名（34.1%）	30名（20.8%）	29名（17.5%）	116名（24.3%）
データサイエンス学科	10名（9.5%）			10名（9.5%）
経済学科	64名（21.8%）	67名（24.8%）	44名（15.9%）	175名（20.8%）
法律学科	45名（13.2%）	69名（20.9%）	60名（17.5%）	174名（17.2%）
国際関係学科	61名（39.1%）	38名（28.6%）	52名（32.1%）	151名（33.5%）
多文化コミュニケーション学科	78名（53.8%）	89名（61.0%）	62名（40.5%）	229名（51.6%）
都市創造学科	28名（20.6%）	26名（18.6%）	33名（18.9%）	87名（19.3%）

⑤目的：

亜細亜大学2～4年生を対象に、これまでの学習生活や学習面などについてアンケート調査を実施し、今後の教育・学生生活の充実に活用するため。

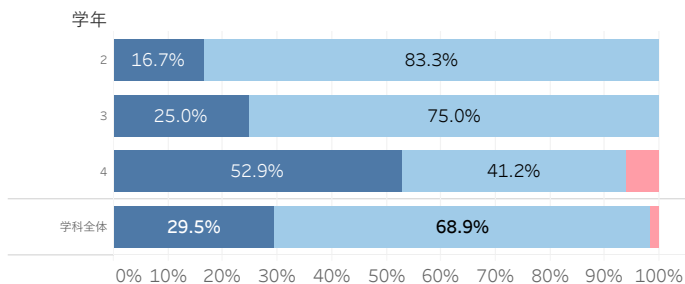
設問2. 所属学部・学科の教育を通じて、次のようなことはどの程度身についたと思いますか。

選択肢 ■ 1. 身につけることができた ■ 2. やや身につけることができた ■ 3. あまり身につけることができなかった ■ 4. 身につけることができなかった

<経営学科>

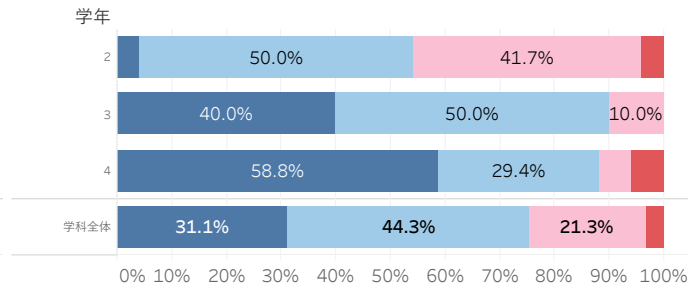
DP1

企業や社会のしくみやあり方に関心を持ち、経営・会計・マーケティング領域を中心とした専門知識とともに幅広い教養を身につけ、ものごとを総合的に判断できる能力



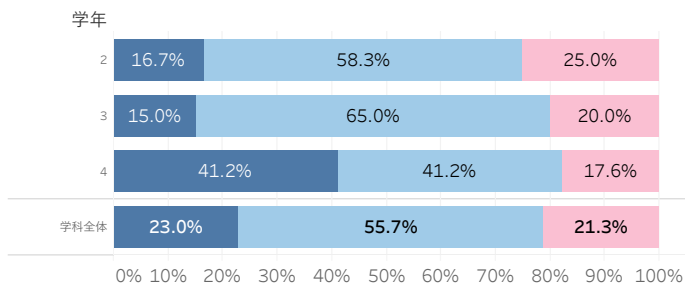
DP2

グローバルな環境において多様性の尊重と共感を念頭にコミュニケーションできる能力



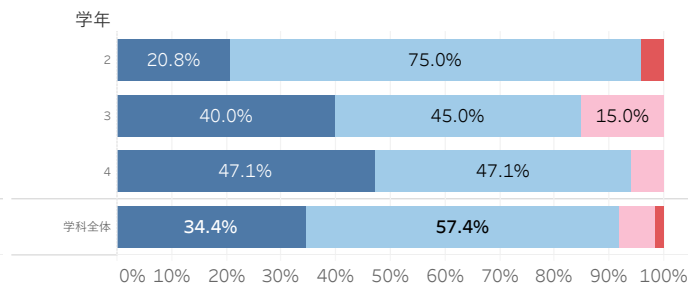
DP3

情報リテラシーや数量的分析技術を身につけ、実践的に活用することにより問題の発見や解決に向け、能動的に社会に貢献できる力



DP4

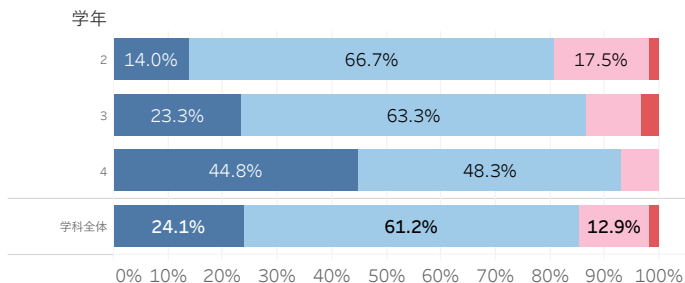
経営学ならびにマネジメント能力は理論と実践により培われることを自覚し、自らのキャリア形成に努めるとともに生涯にわたって学びの姿勢を持続できる力



<ホスピタリティ・マネジメント学科>

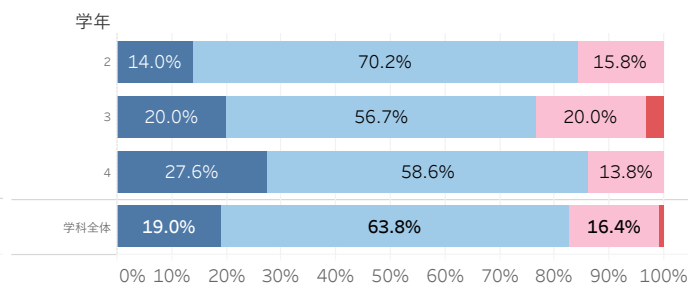
DP1

ホスピタリティ及びスポーツホスピタリティ・ビジネスの実務現場において、即戦力となる高度な専門知識と技能及び幅広い教養を修得し活用できる能力



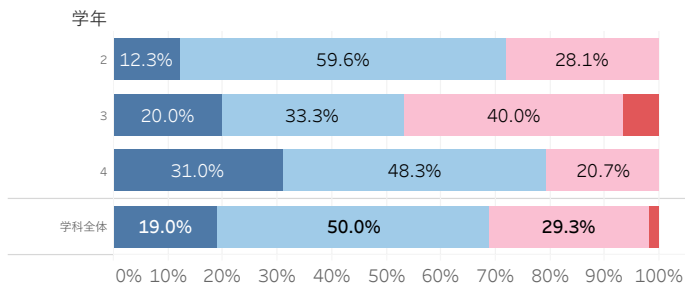
DP2

経営学・会計学・マーケティング等のマネジメントの知識と技能及びホスピタリティマインドを有し活用できる能力



DP3

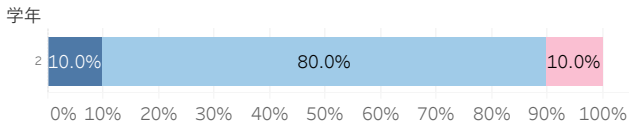
グローバルな視点から高いコミュニケーション能力を有し、かつ多様な文化を尊重し、広く国際社会に貢献できる力



<データサイエンス学科>

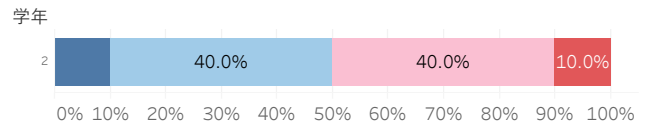
DP1

情報技術と社会の関わりや古典的自然科学の基本的理解と、数理・データサイエンス・A I を原理から理解できる数学・統計学の基礎力をもち、社会課題の解決に活用できる者



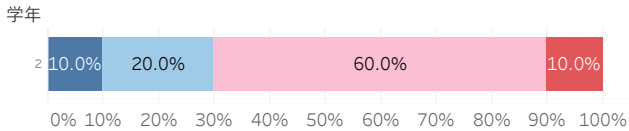
DP2

A I・機械学習に関して、データ収集と実装と可視化等を実行できるプログラミングの基礎的力量、ディープラーニングの事業活用を提案できる基礎知識、将来的にこれらの業務を英語で行える英語の基礎力をもち、社会の課題解決に活用できる



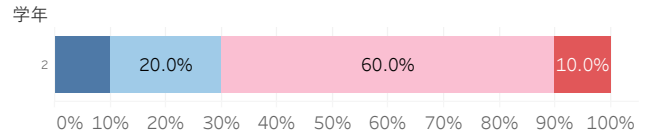
DP3

未知のデータから新たな知見を引き出し実社会の問題解決に結びつけるマインドをもち、社会の課題解決に活用できる



DP4

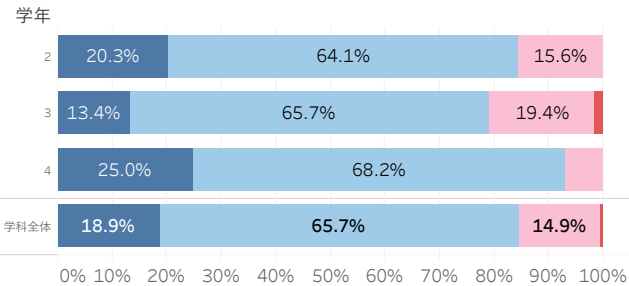
企業経営やビジネスに関する基礎的な知識を有し、社会課題の背景の理解並びに研究成果の現場への実装あるいは実践に関して洞察できる



<経済学科>

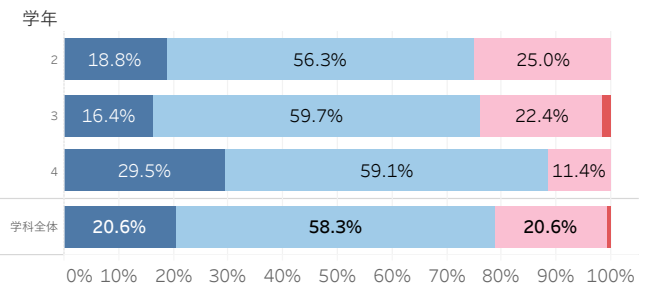
DP1

経済社会の直面する経済問題を発見し、解決するために必要な経済学の基本的な知識と分析ツールを身につけている



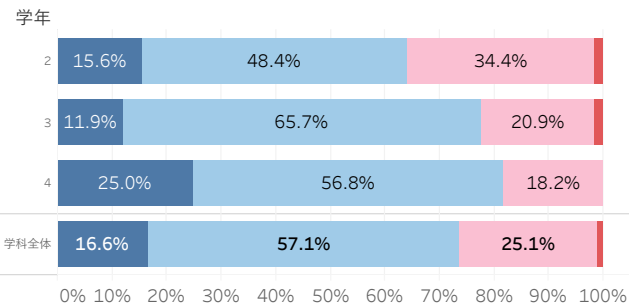
DP2

グローバルな視点を含めて、さまざまな視点から経済社会を総合的に理解するために必要な社会科学の幅広い知識と教養を身につけている



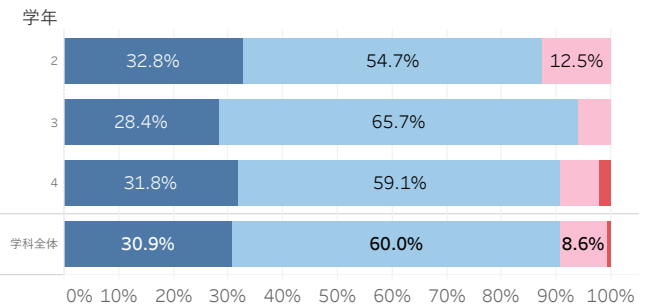
DP3

アジアを始めとする国際社会の一員として、直面する課題に積極的に取り組む能力を身につけている

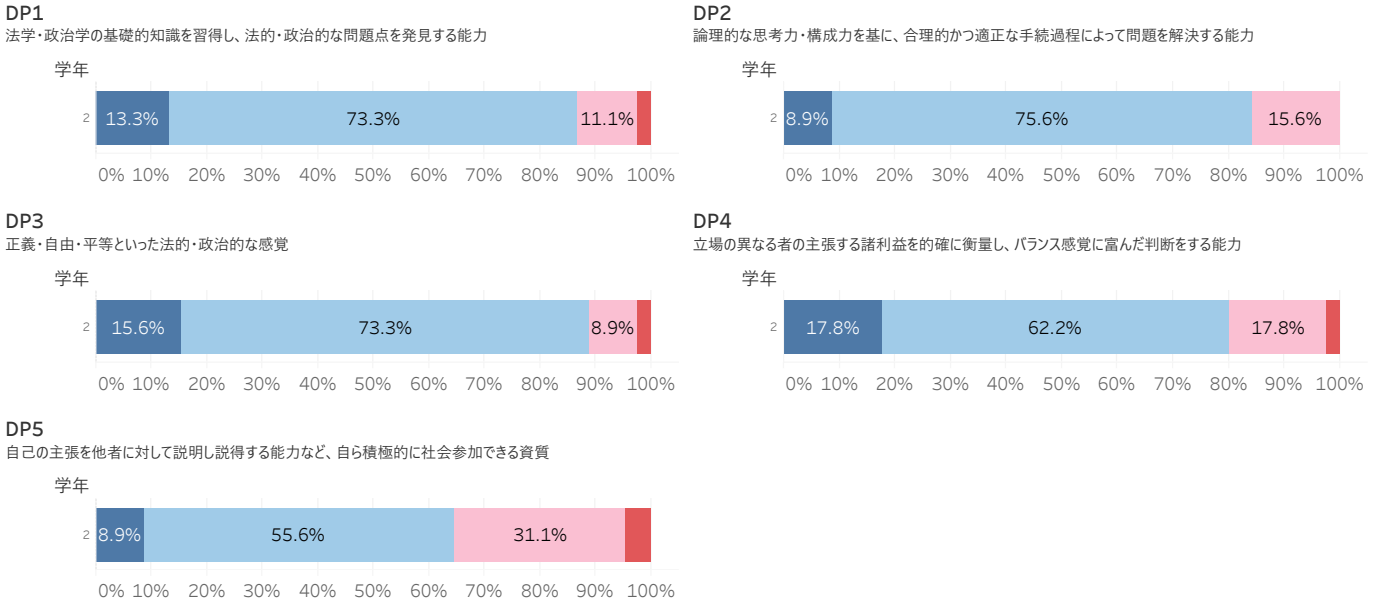


DP4

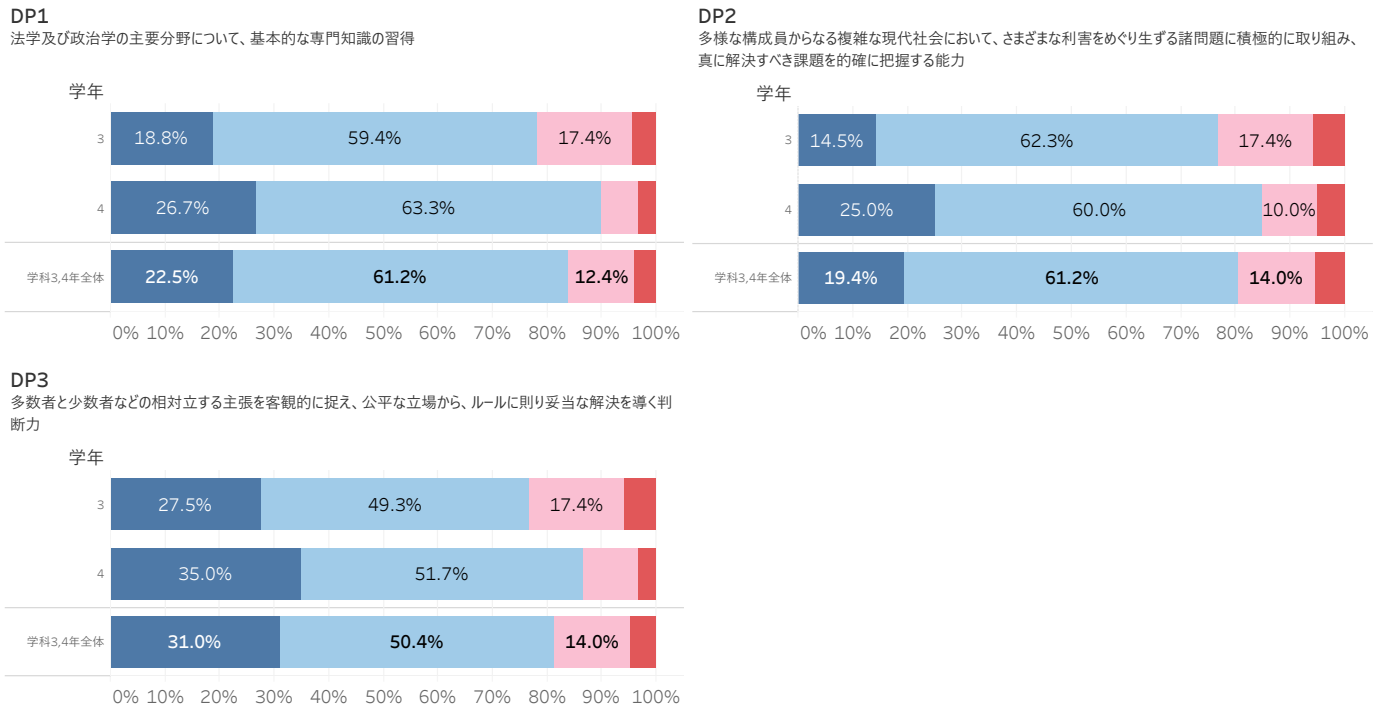
他者を尊重しつつ自分の考えを表明し、周囲とコミュニケーションできる能力を身につけている



< 法律学科（2023年度入学） >



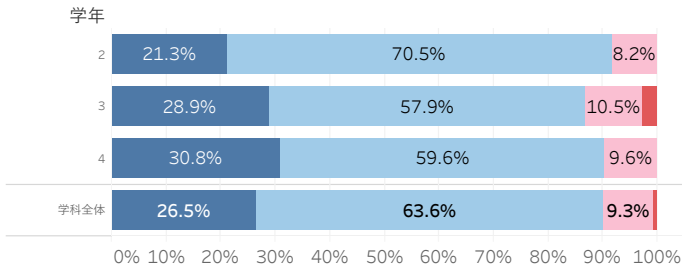
< 法律学科（2023年度以前入学） >



<国際関係学科>

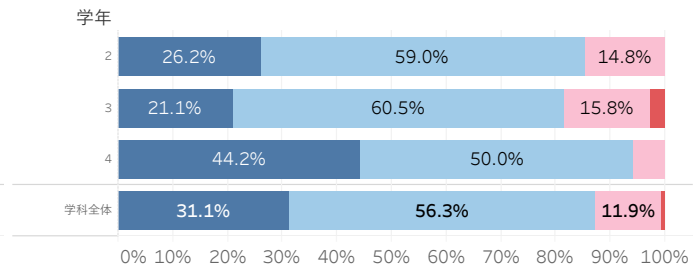
DP1

政治・法律・経済・社会にわたる社会科学諸領域の基礎知識の修得



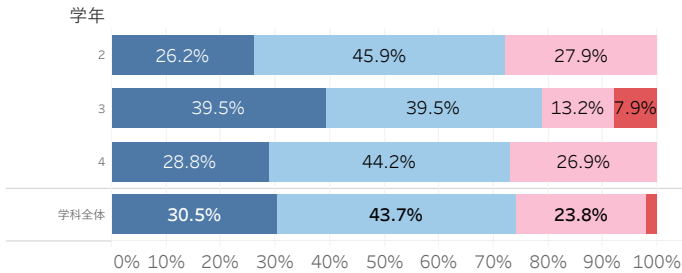
DP2

この基礎知識を応用し国際社会の諸問題を考察することを通じて、国際関係への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力



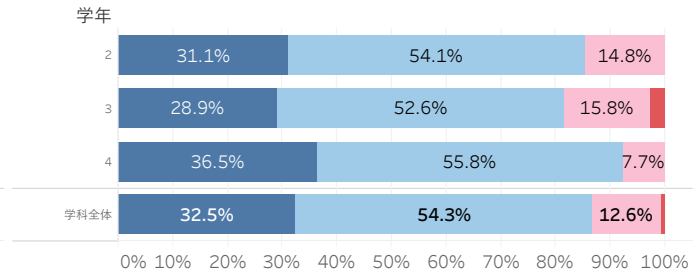
DP3

一定水準の英語運用能力



DP4

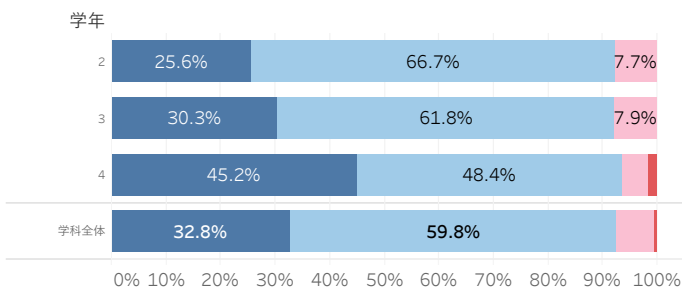
国際社会の一員としての倫理観を持ち、国際社会の平和と協力促進のために自ら積極的に貢献する姿勢



<多文化コミュニケーション学科>

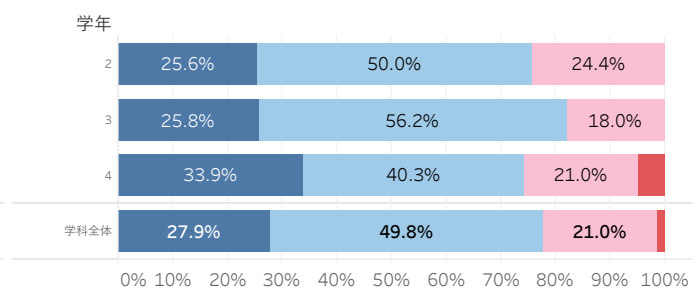
DP1

国境を越える多文化間交流の歴史と現状について基礎知識の習得



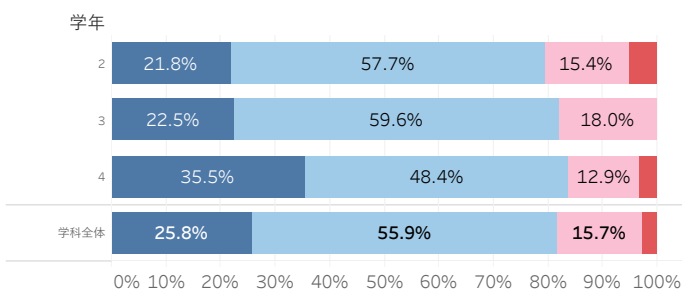
DP2

一定水準の英語力及びアジア諸言語能力を備えている。また、これを基礎に、多様な文化背景を持つ人々をつなぐコミュニケーション能力



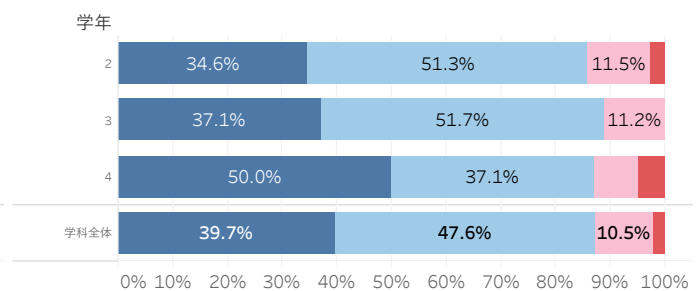
DP3

多様な文化の現場での実地調査及び調査結果の分析・報告を通じて、多文化間交流への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている



DP4

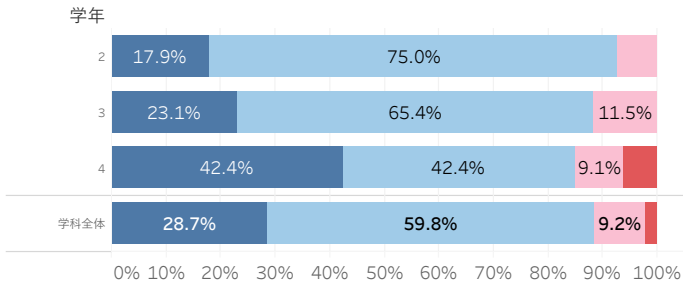
文化の相互尊重の理念に立って、多文化間の交流と対話を促進する積極的な姿勢



<都市創造学科>

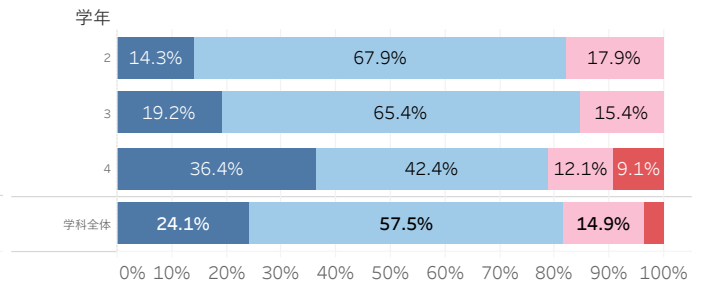
DP1

大きな3つの学びの領域「国際都市と留学」、「都市とビジネス」、「都市と社会」と関連づけながら、幅広い教養と社会学・経営学・ICTに関する高度な専門知識を身につけ、都市創造を理解している



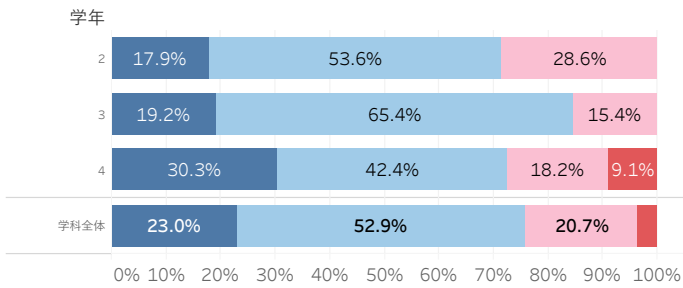
DP2

大きな3つの学びの領域と交わる都市の魅力や課題について、社会学・経営学・ICTの知識を用いて考察する力



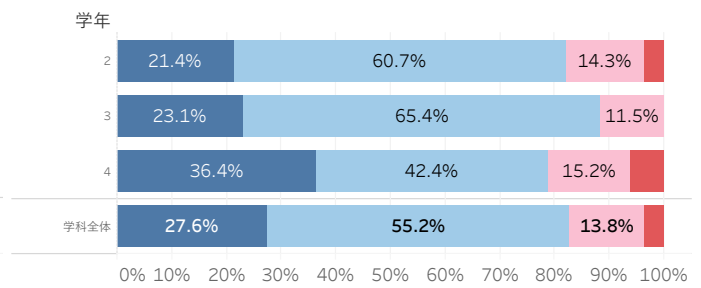
DP3

3つの学びを基礎に、アジア融合の視点から社会学・経営学・ICTの知識を、都市の魅力や課題解決策の開発に応用することができる力



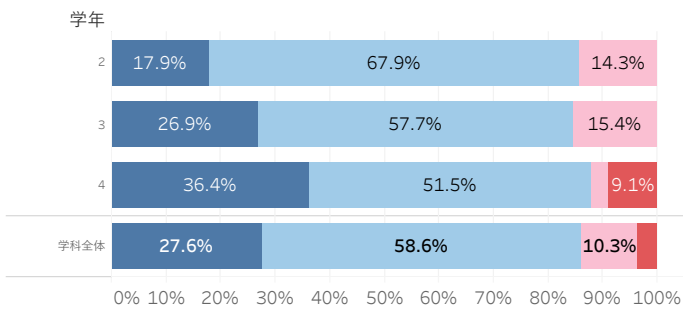
DP4

他者と協力して、より良い都市の創造に能動的に貢献できる力



DP5

目標を定め、自らのキャリアを体験的に形成し、生涯にわたって学ぶ姿勢を持続できる力

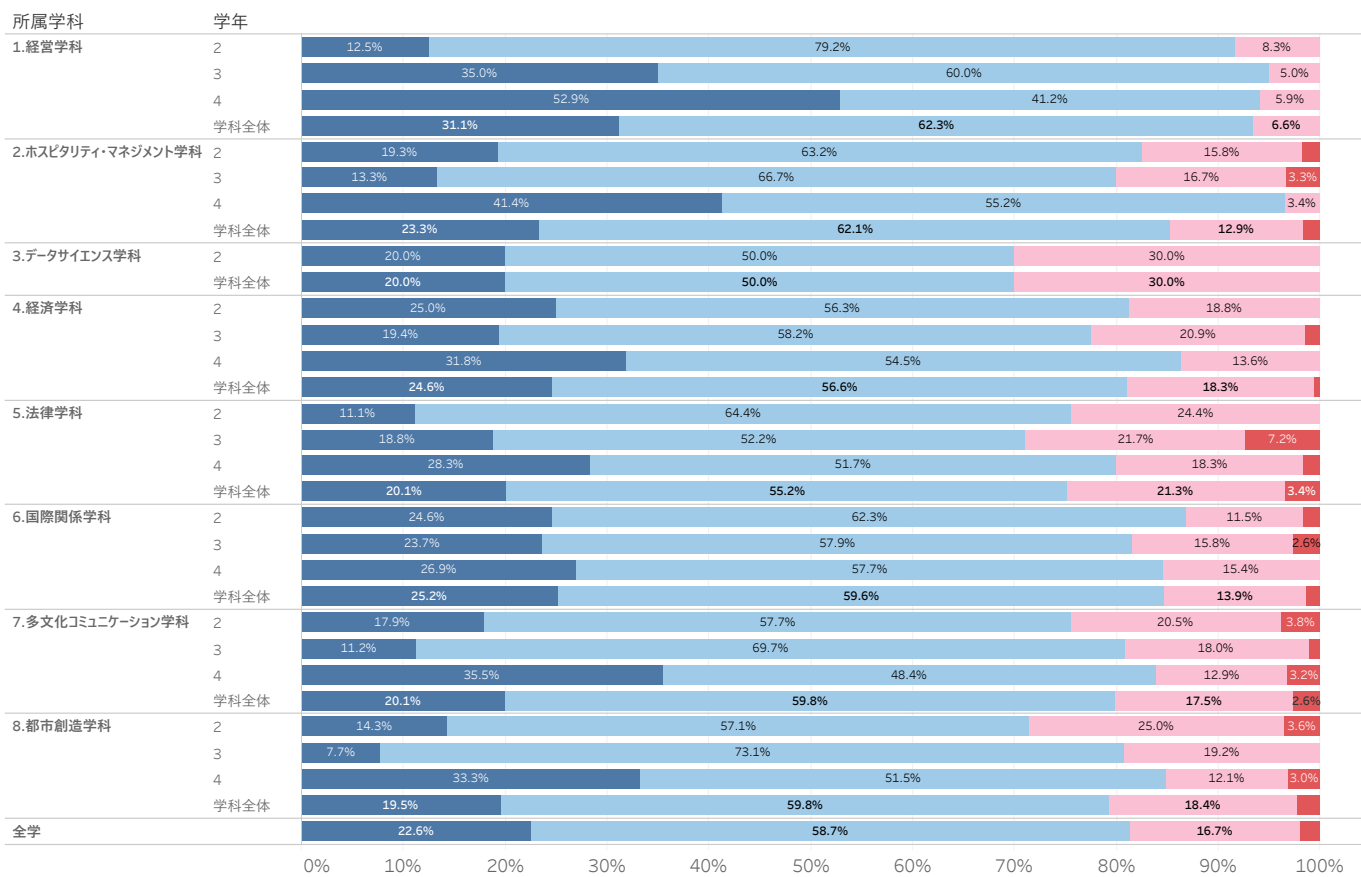


設問3. 大学全体での教育を通じて、次のようなことはどの程度身についたと思いますか。

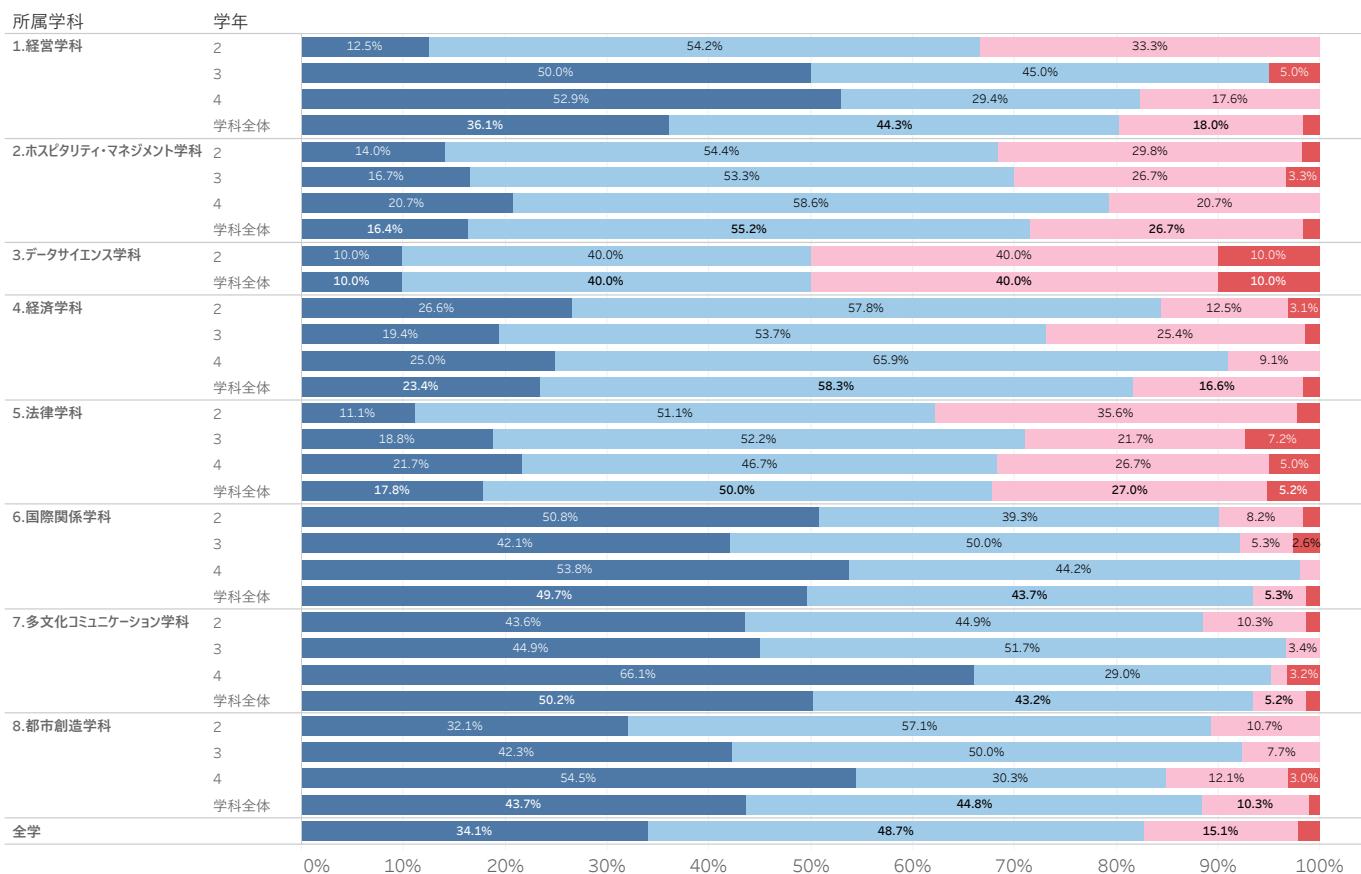
選択肢

■ 1. 身につけることができた ■ 2. やや身につけることができた ■ 3. あまり身につけることができなかった ■ 4. 身につけることができなかった

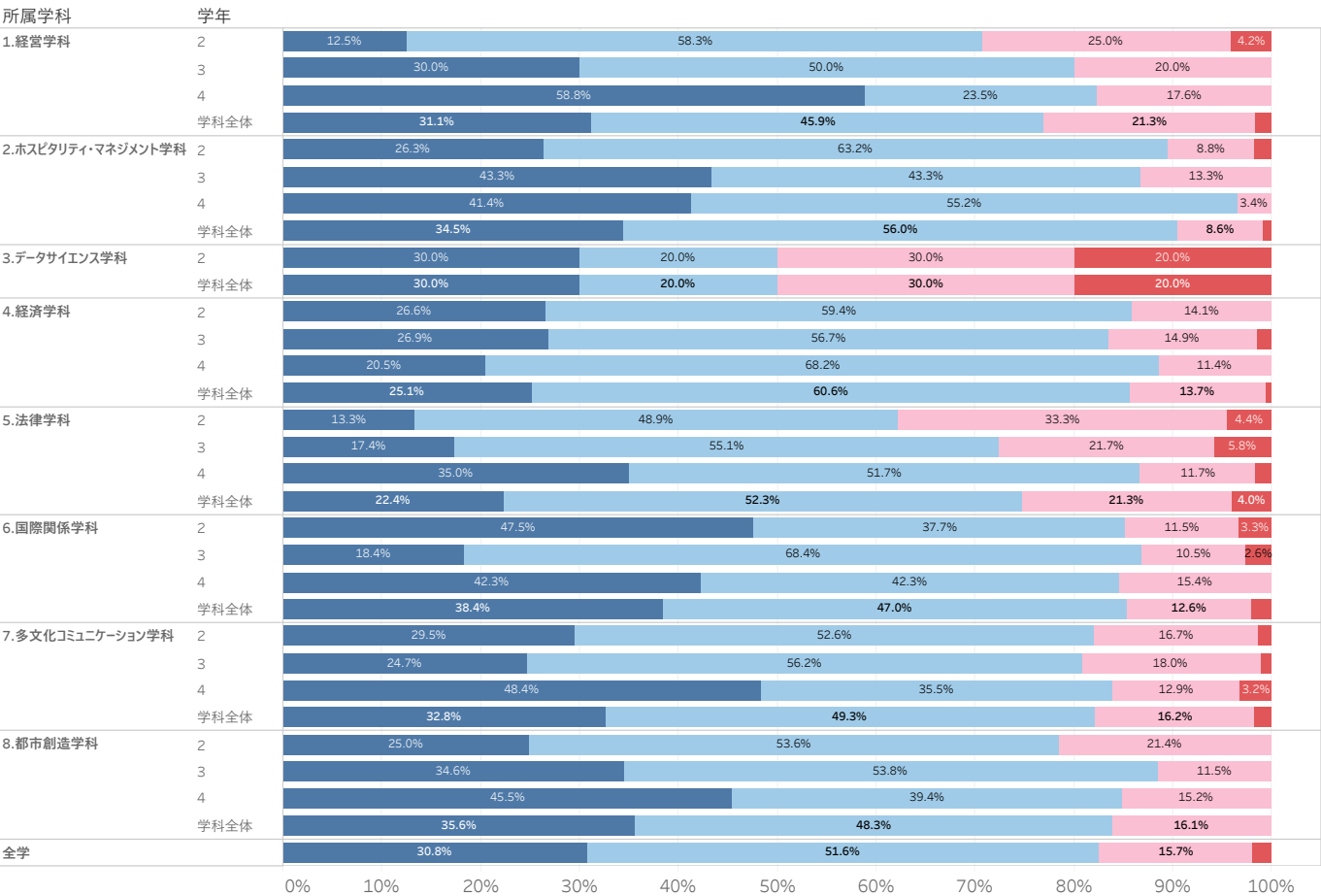
全学DP1. 幅広い教養と高度な専門知識・技能を身につけ、柔軟に活用できる



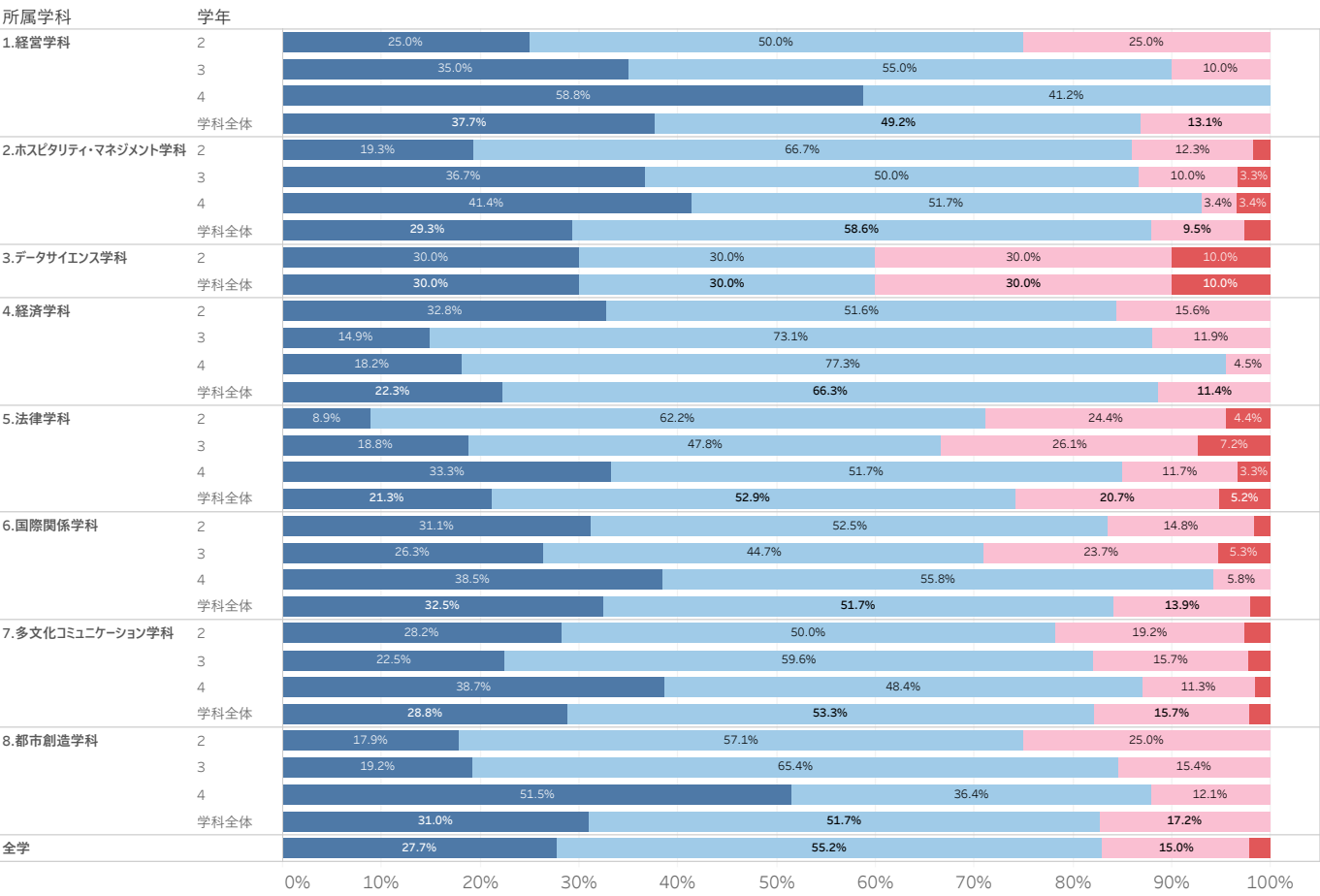
全学DP2. グローバルな視点から世界の諸文化を理解し、その多様性を尊重できる



全学DP3. 他者と協力して、より良い社会の形成に能動的に貢献できる



全学DP4. 目標を定め、自らのキャリアを形成し、生涯にわたって学びの姿勢を持続できる

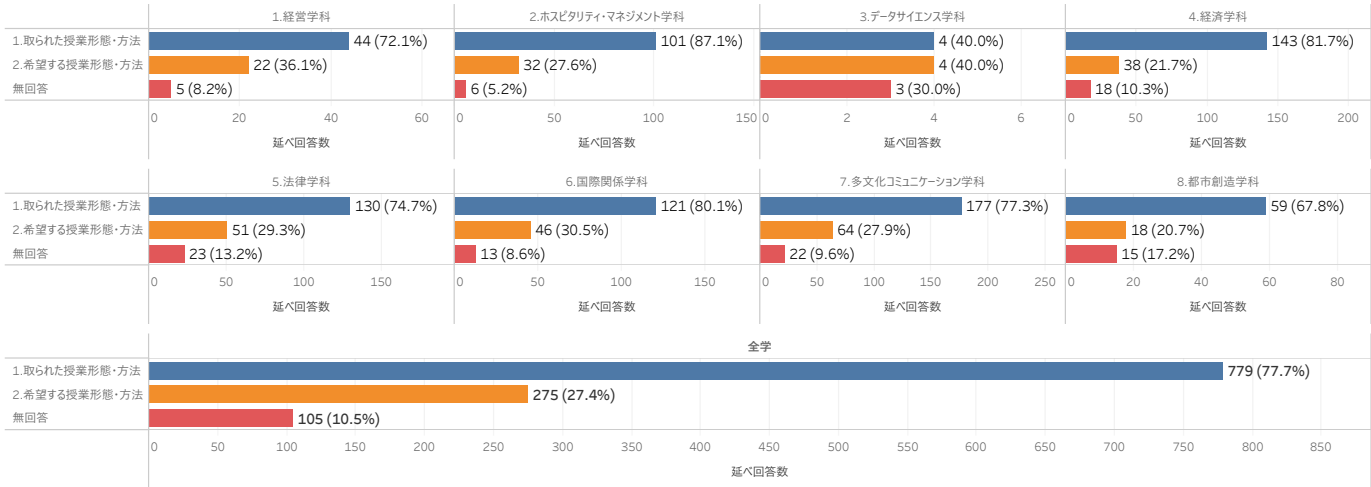


**設問4. 昨年度受講した授業の中で、以下の授業形態・方法が取られた科目はありましたか、またどの授業形態・方法を希望していますか。
(複数選択可)**

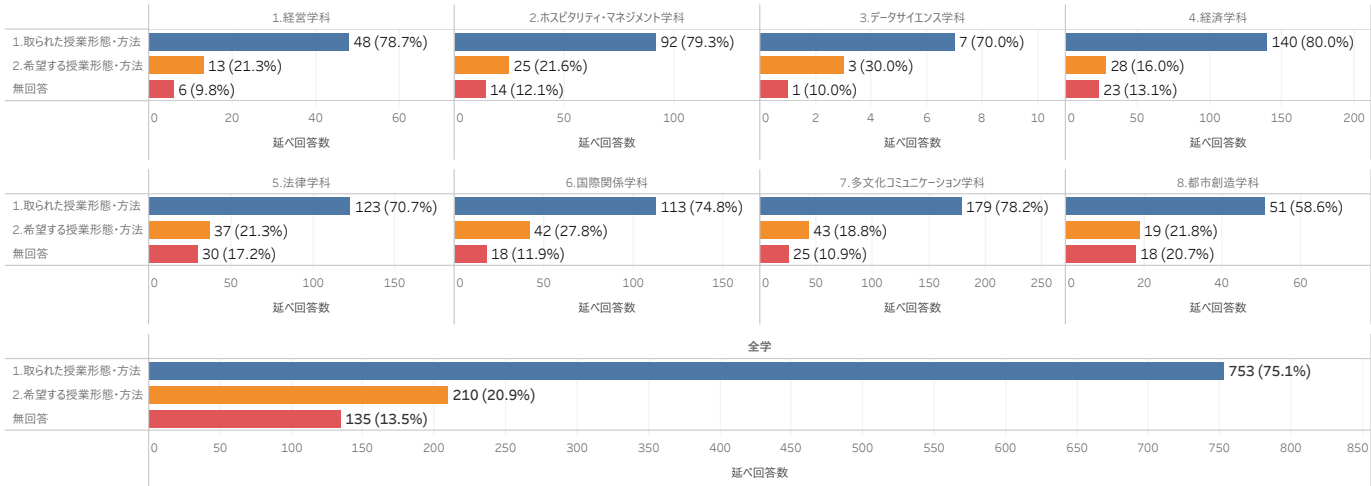
*** 延べ回答数を表示 ()内は各学科の回答者数に対する割合**

*** 学科ごとの回答数によって延べ回答数の軸範囲を調整**

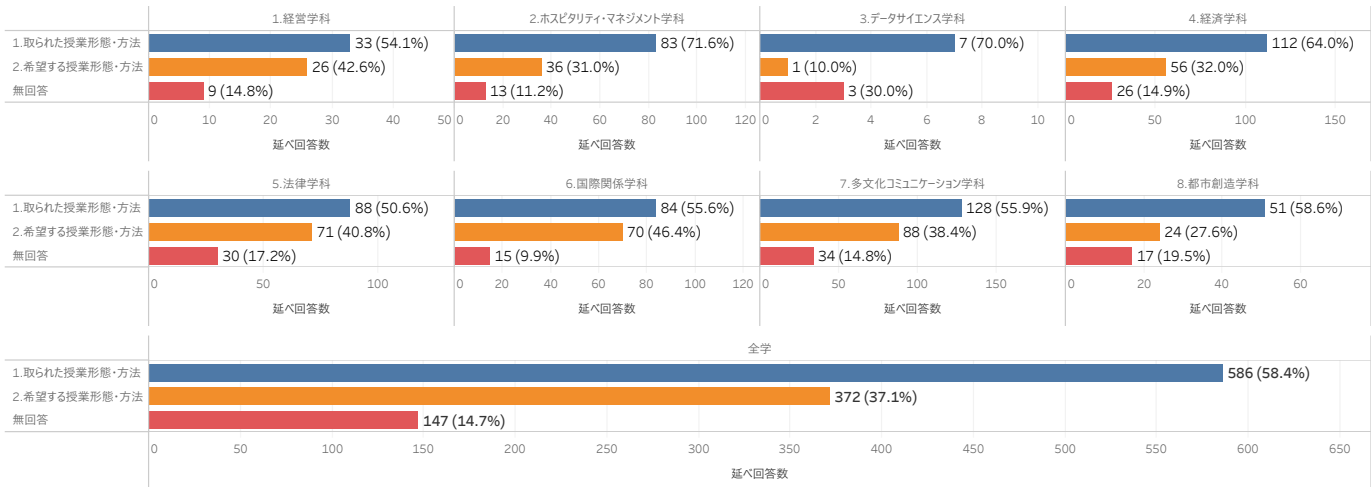
1. 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれる



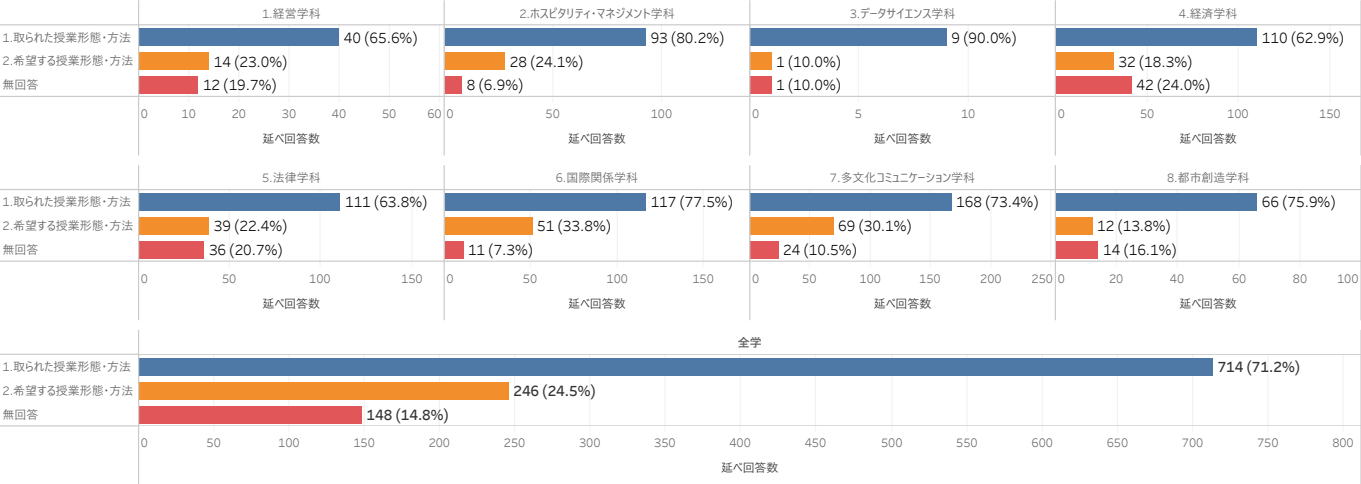
2. 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される



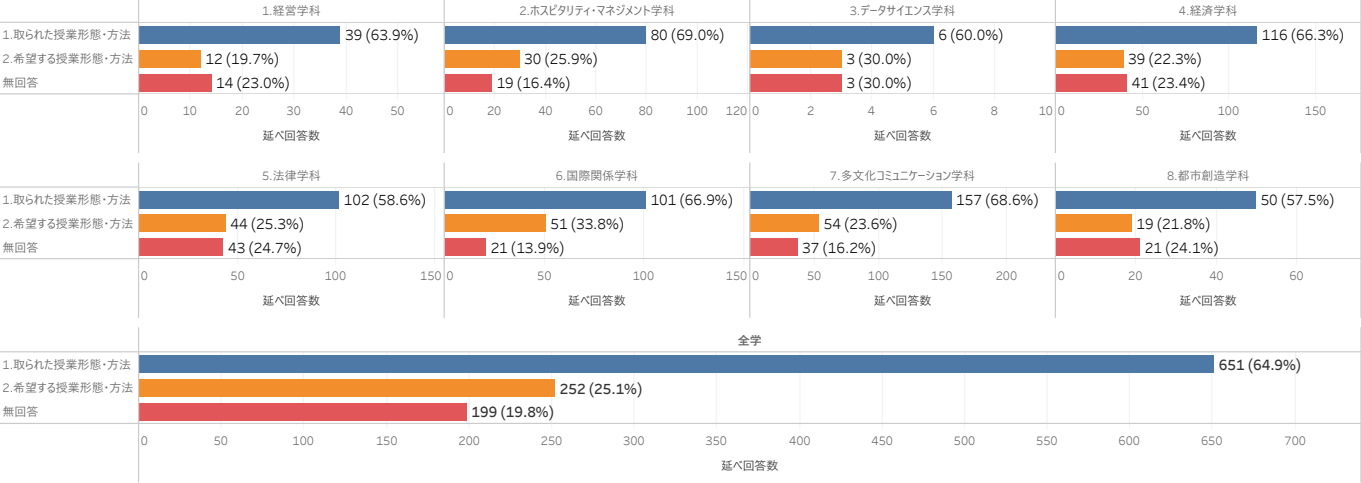
3. 小テストや課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される



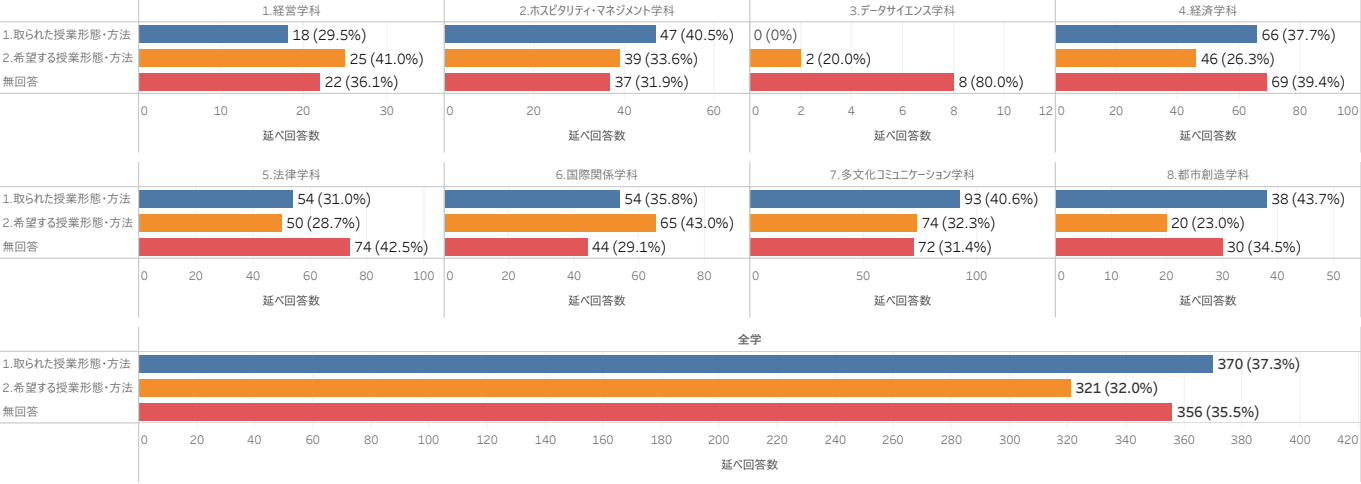
4. グループワークやディスカッションの機会がある



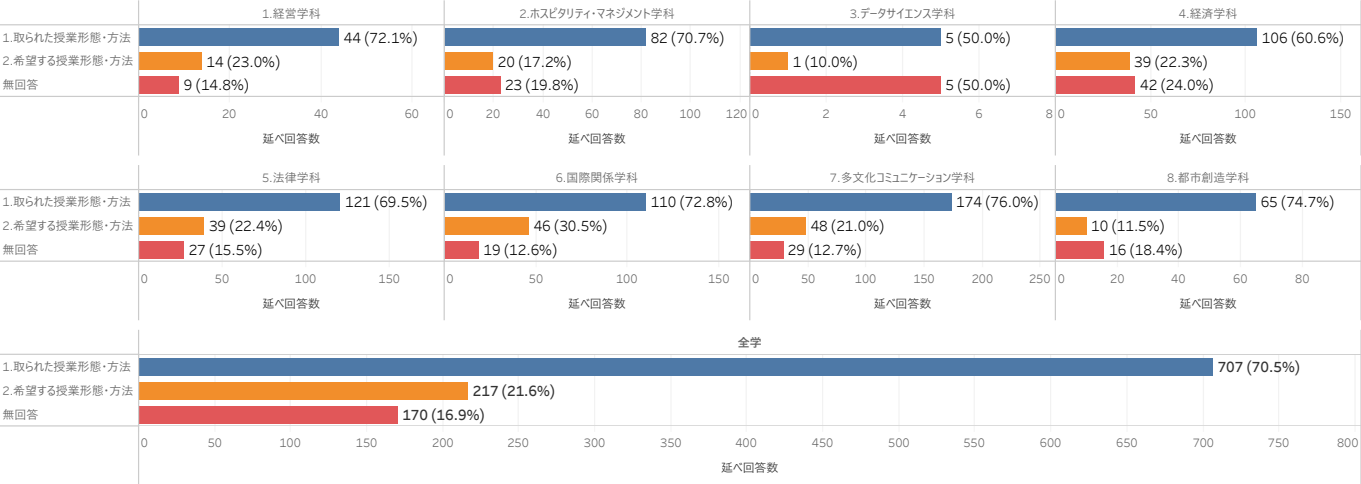
5. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある



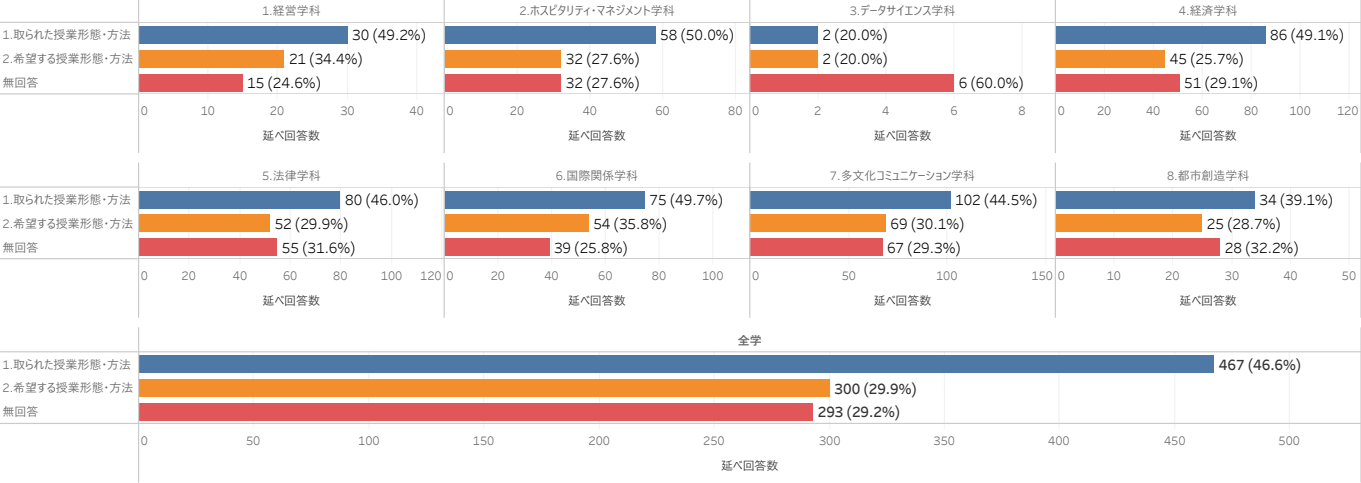
6. ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある



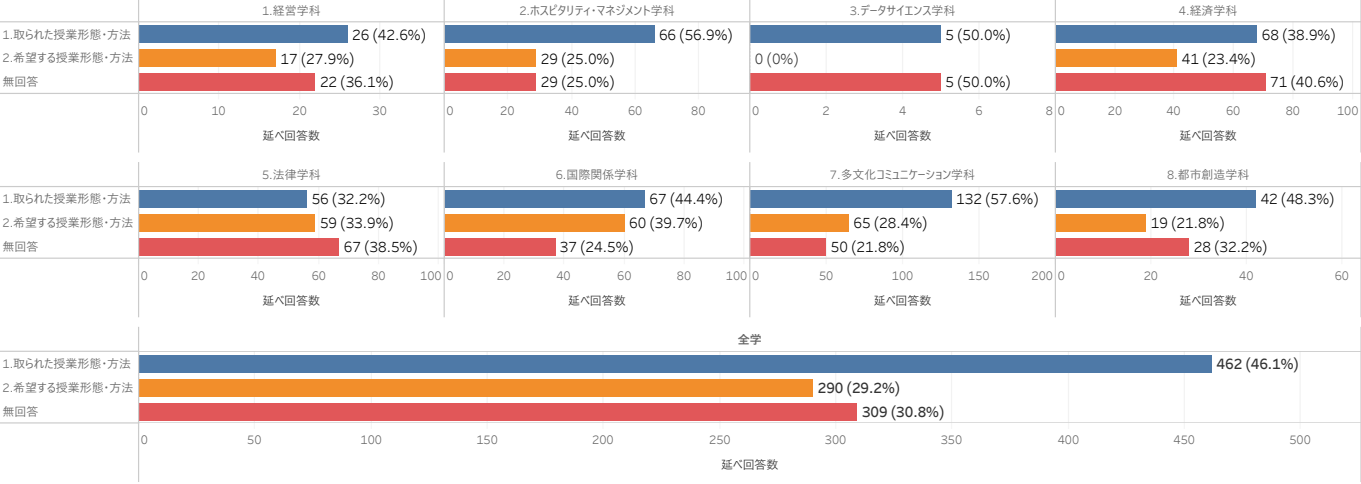
7. 受講者数が概ね 20 名以下の少人数で実施される授業の機会がある



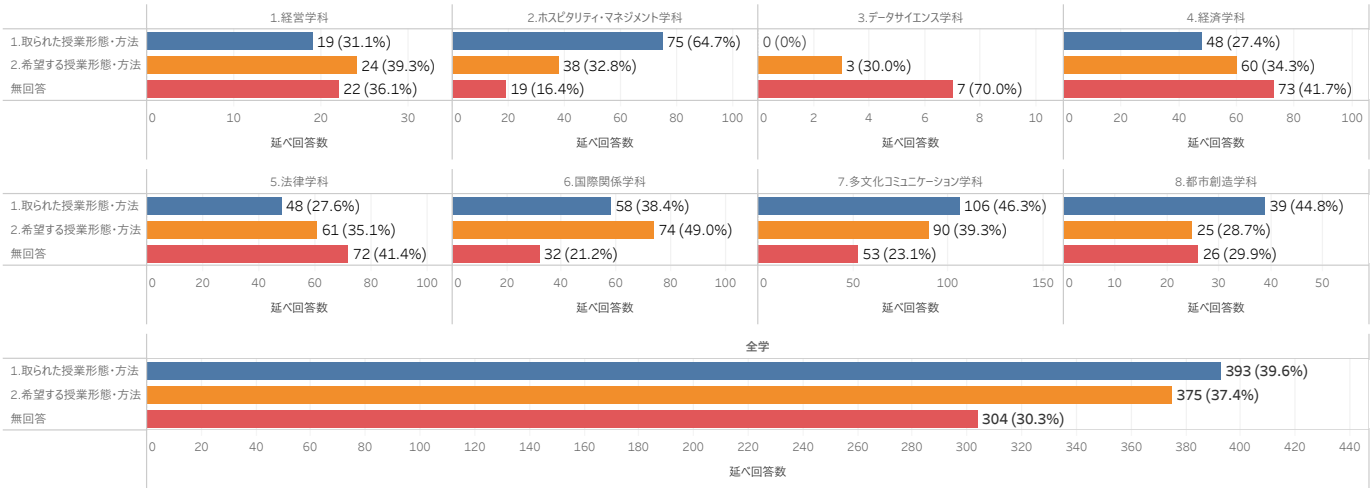
8. 大学での学習方法を学ぶ授業



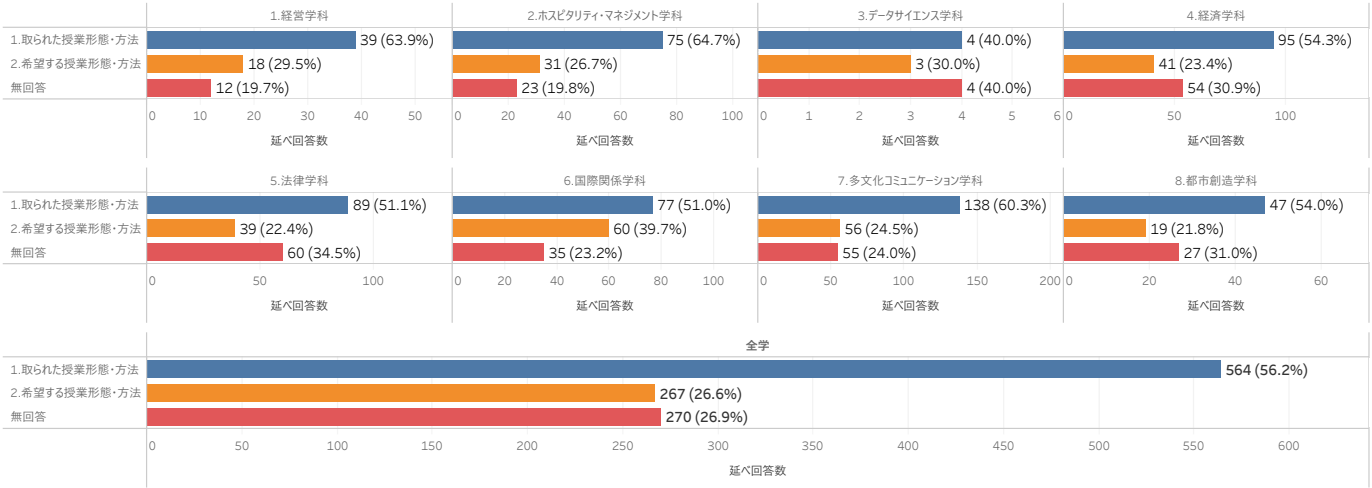
9. 学外実習や調査の機会を取り入れた授業



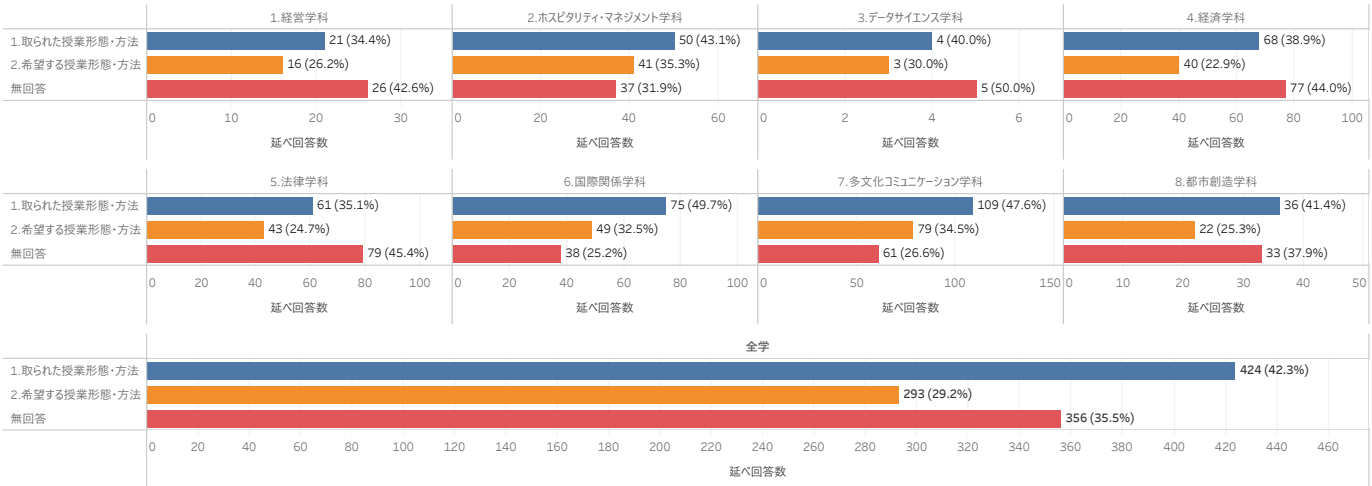
10. 上級生や下級生とやり取りがある授業



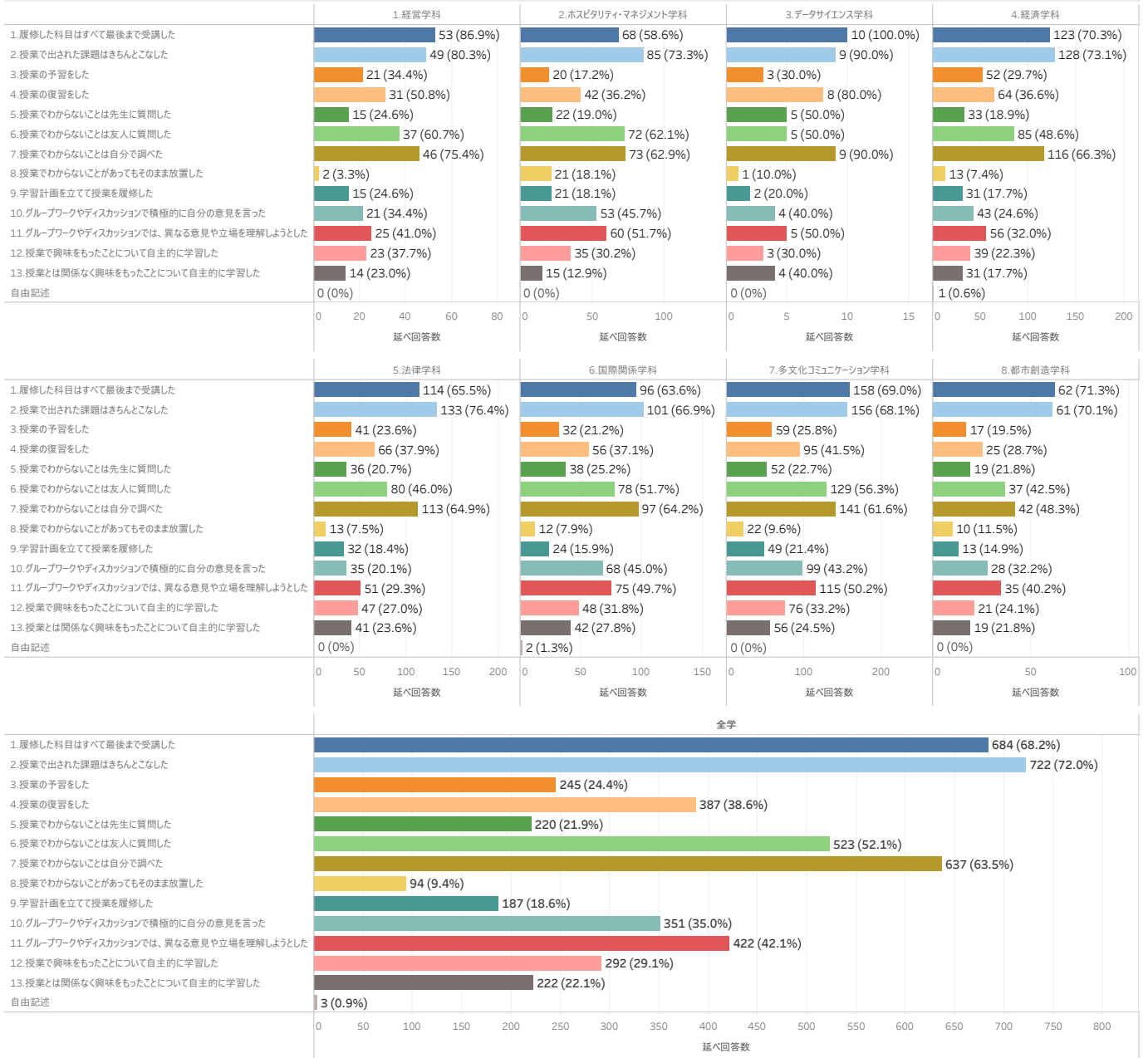
11. 教員と双方向のやり取りがある授業



12. 語学以外の授業で、外国語で行われる授業



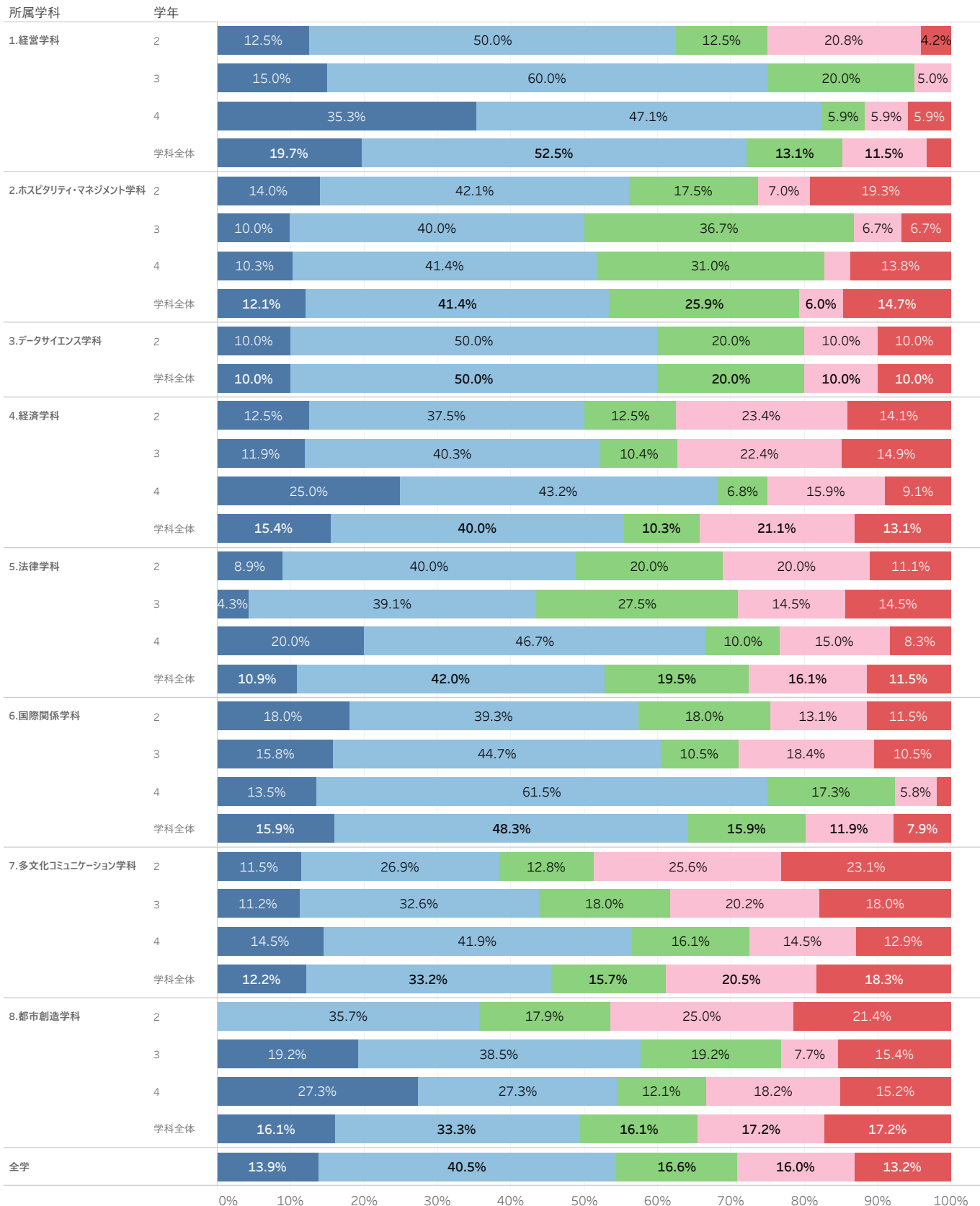
設問5. 昨年度、授業に対してどのように取り組みましたか。（複数選択可）



設問6. 大学における講義科目の1単位を取得するには45時間の学修が必要とされており、本学の場合105分の授業（1単位科目）に対して1時間半強の自習が必要であることをご存じでしたか。昨年度1年間を振り返り、授業時間外の学修状況（予習・復習など）に近いものを選んでください

選択肢

- 1.知っている、意識して学修している
- 2.知っているが、学修時間は必要な時間の半分以下である
- 3.知っているが、学修していない
- 4.知らなかったが、ある程度は学修している
- 5.知らなかったで、学修していない

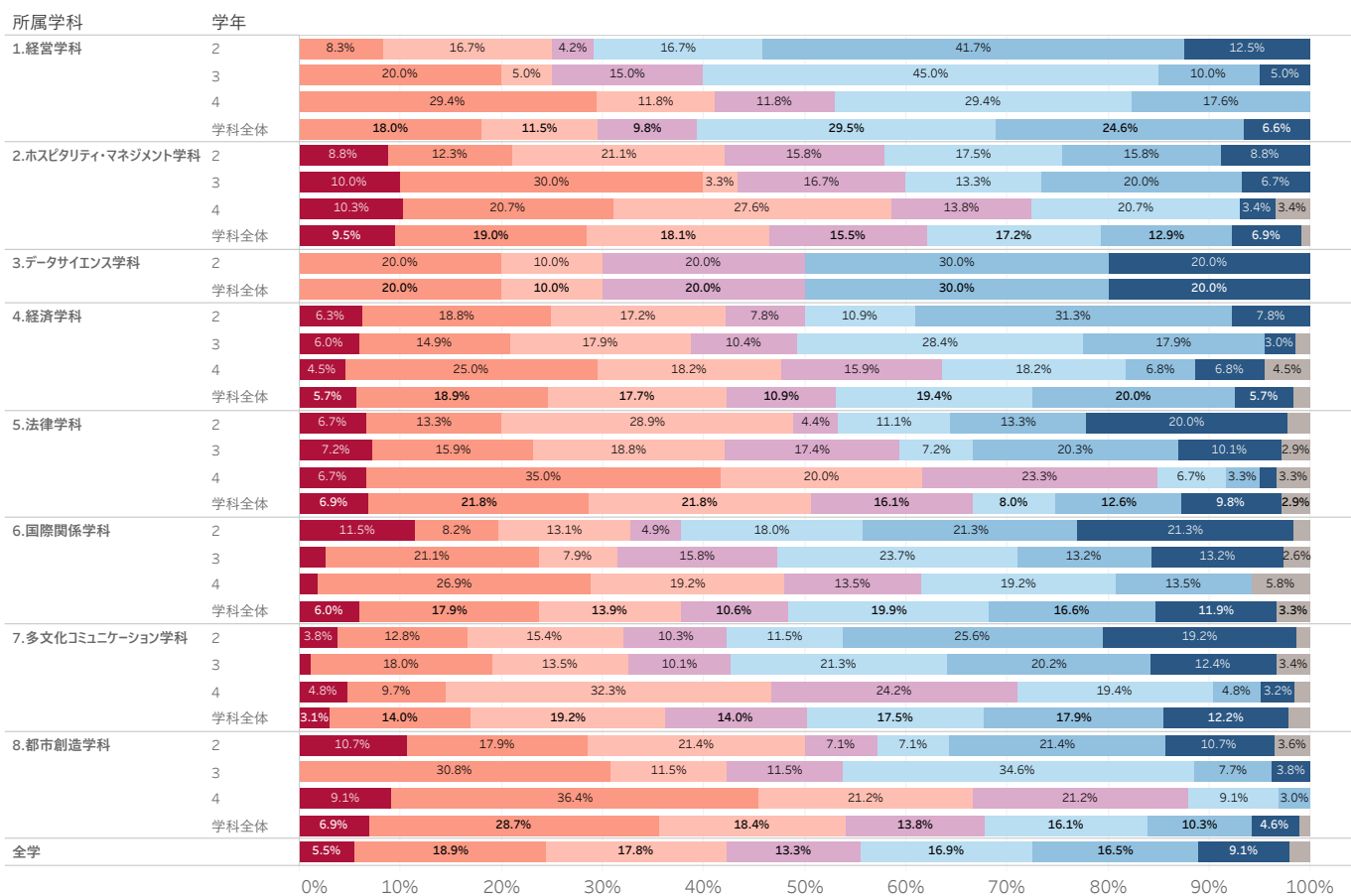


設問7. 昨年度を振り返って、授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、それぞれのくらいですか。

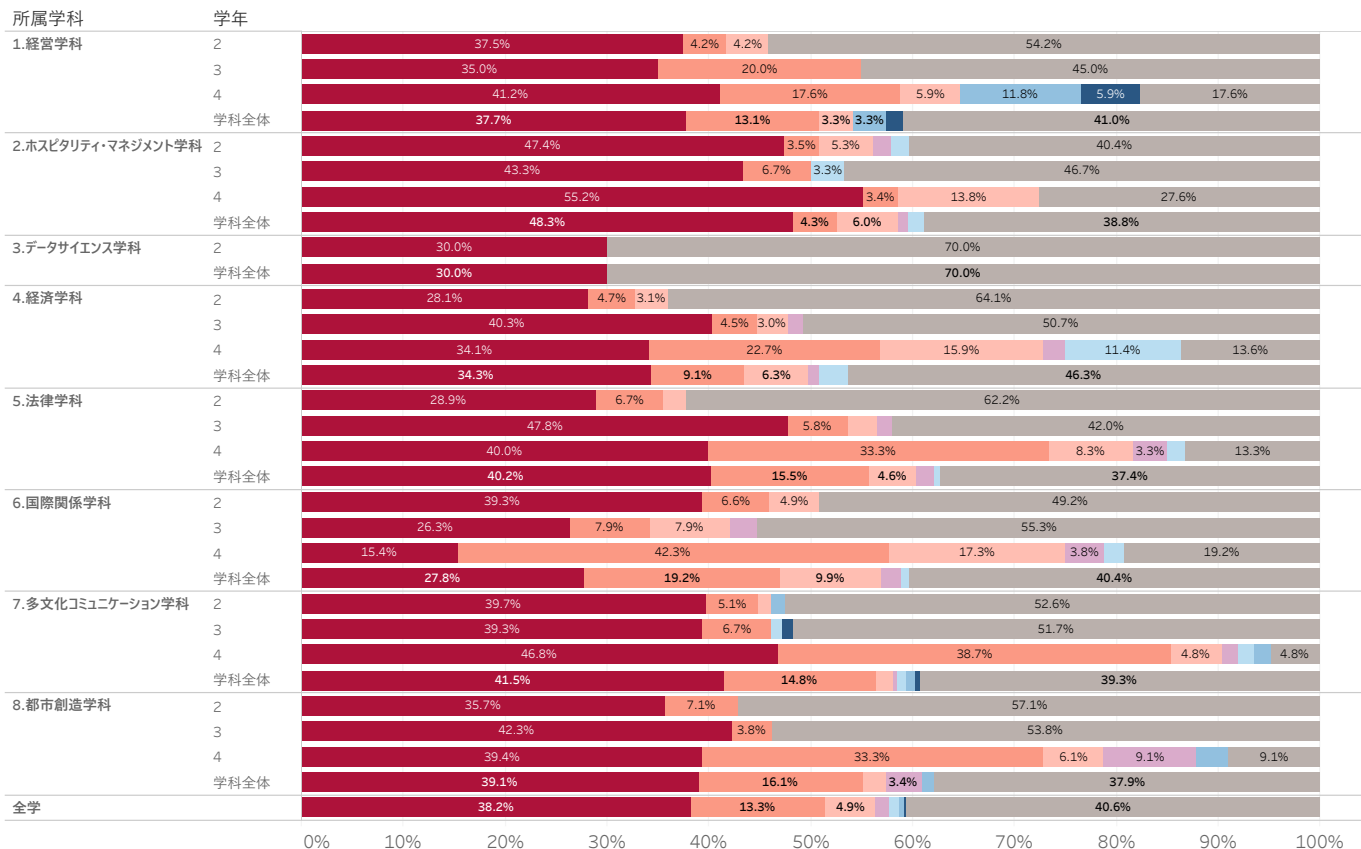
1.授業への出席(オンライン授業や実習を含む)

選択肢

■ 1.0時間 ■ 2.1～5時間 ■ 3.6～10時間 ■ 4.11～15時間 ■ 5.16～20時間 ■ 6.21～30時間 ■ 7.31時間以上 ■ 8.所属していない



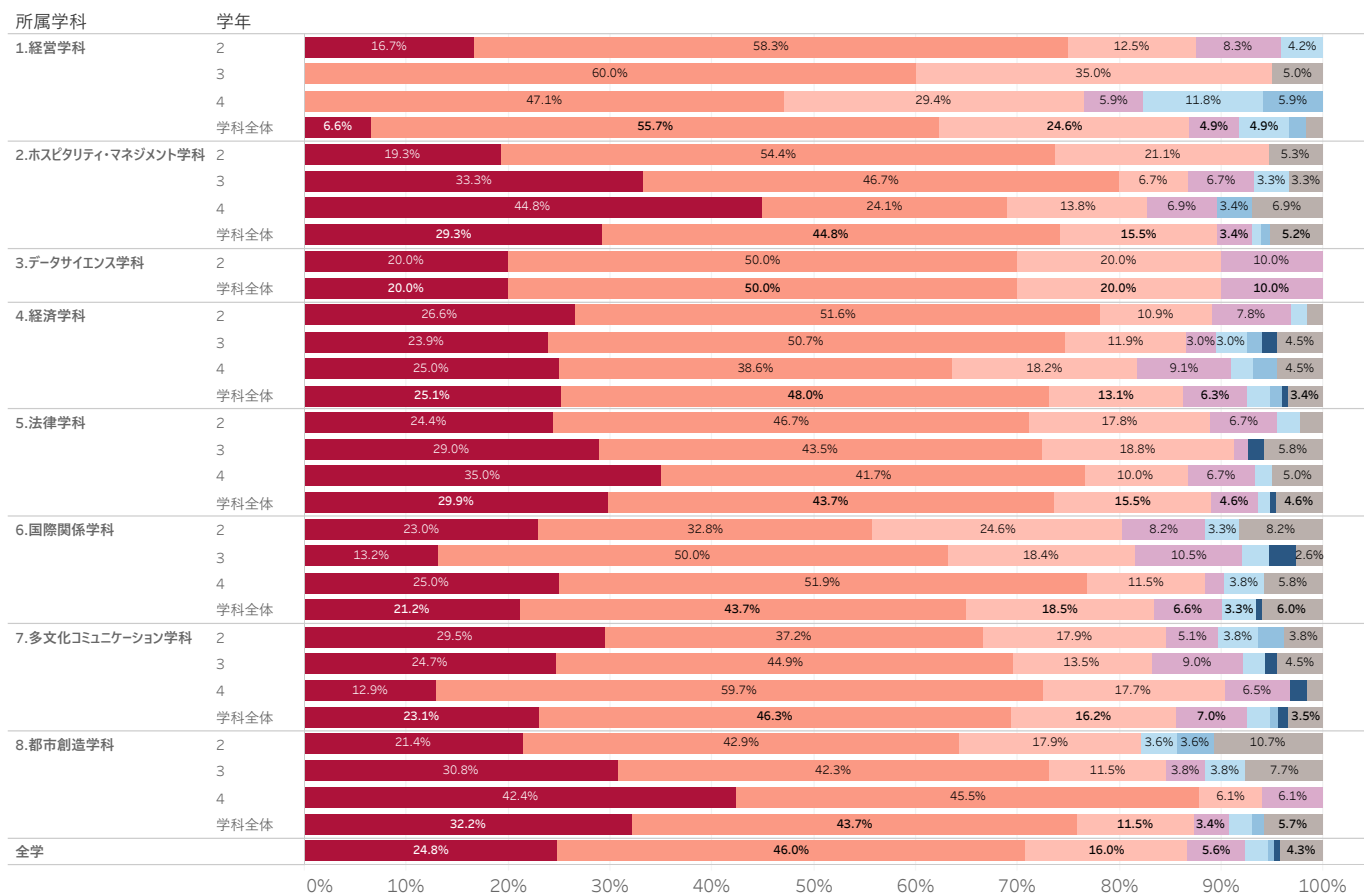
2.卒業論文・卒業研究・卒業制作



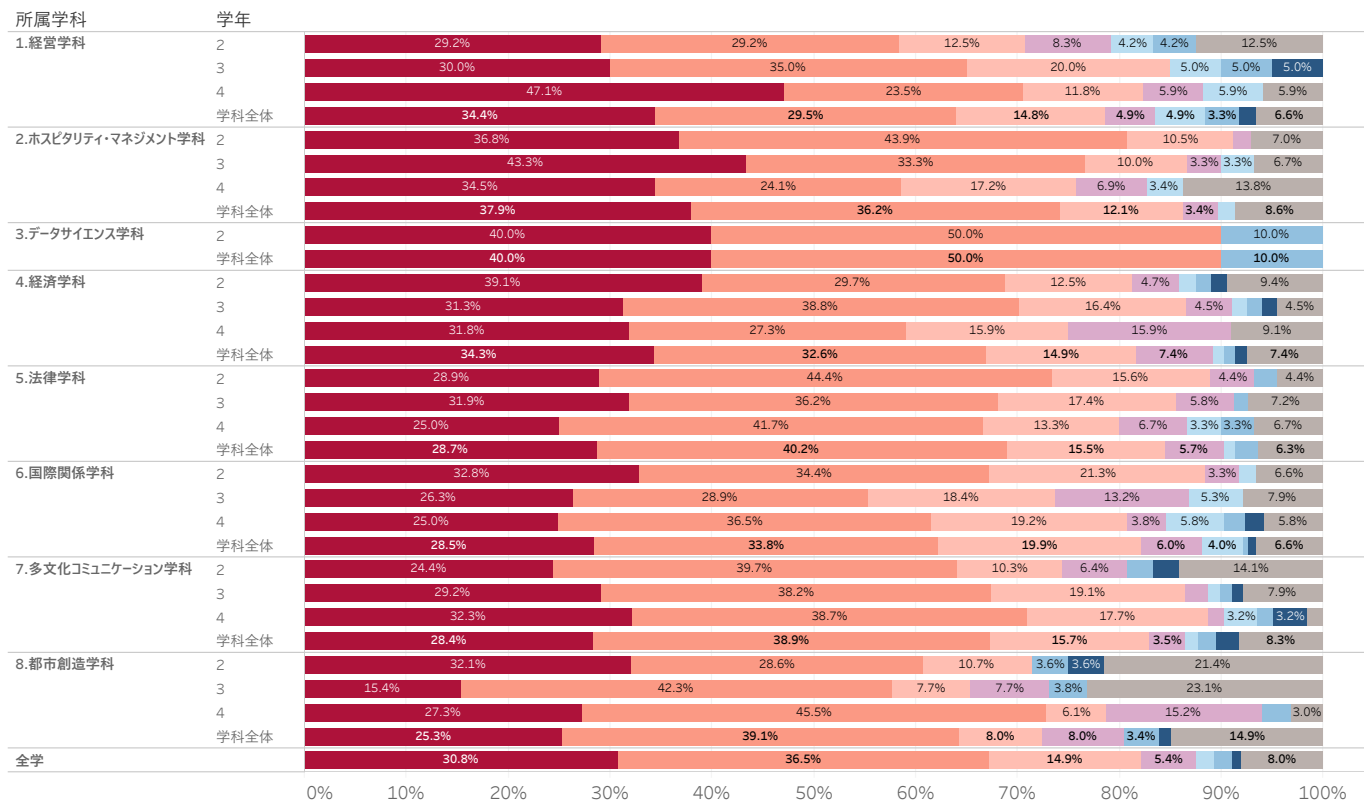
選択肢

■ 1.0時間 ■ 2.1－5時間 ■ 3.6－10時間 ■ 4.11－15時間 ■ 5.16－20時間 ■ 6.21－30時間 ■ 7.31時間以上 ■ 8.所属していない

3. 予習・復習・課題など授業に関する学習(卒業論文等は除く)



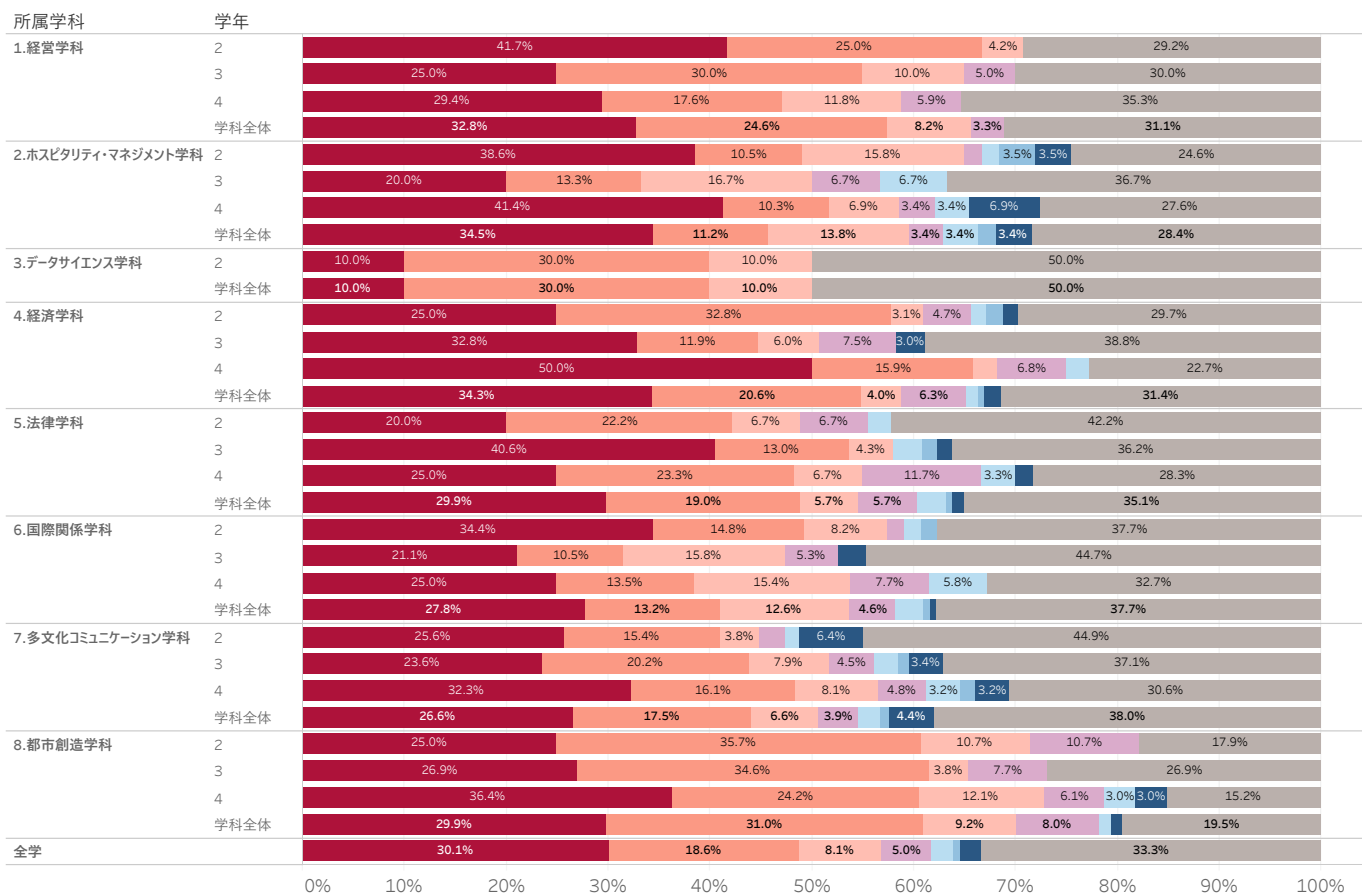
4. 授業と関係しない自主的な学習(読書や資格試験の勉強等)



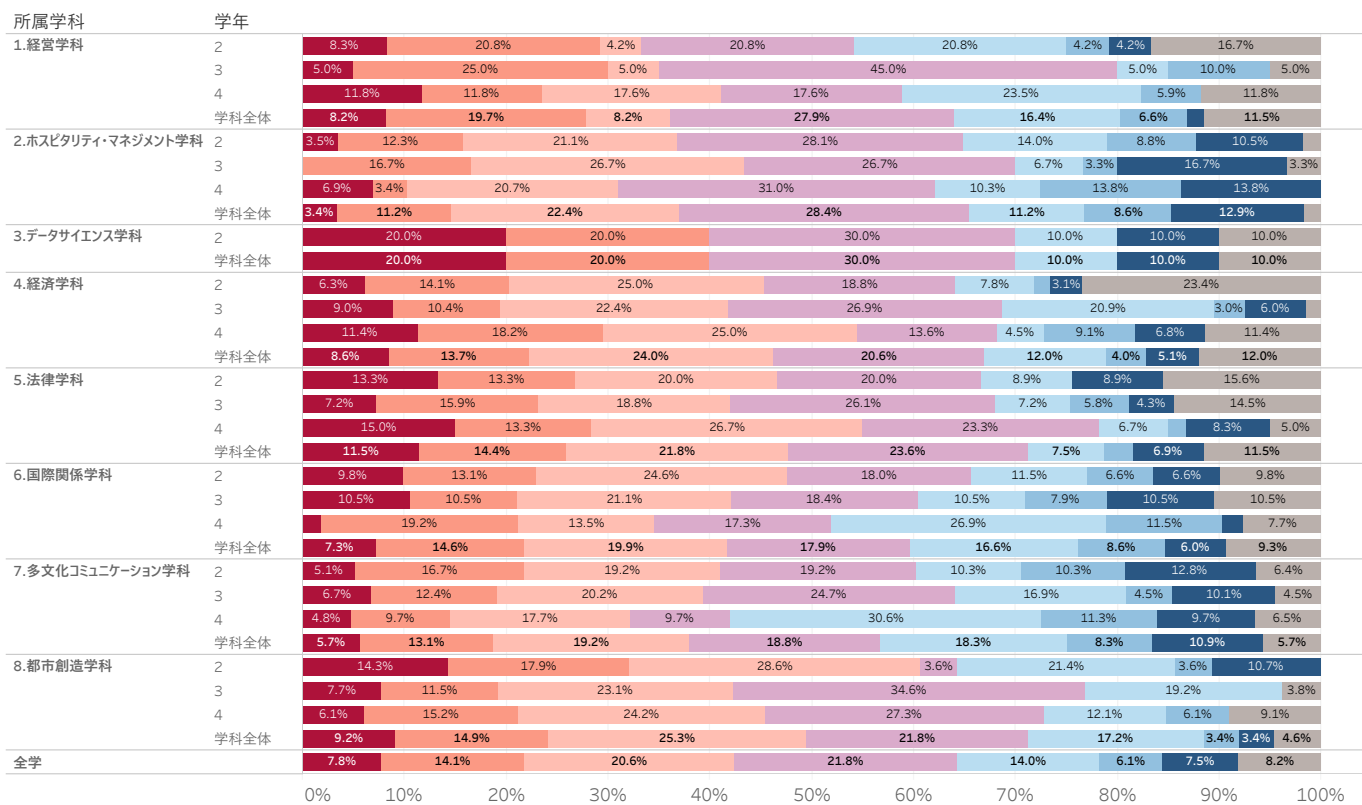
選択肢

■ 1.0時間 ■ 2.1－5時間 ■ 3.6－10時間 ■ 4.11－15時間 ■ 5.16－20時間 ■ 6.21－30時間 ■ 7.31時間以上 ■ 8.所属していない

5.部活動・サークル活動



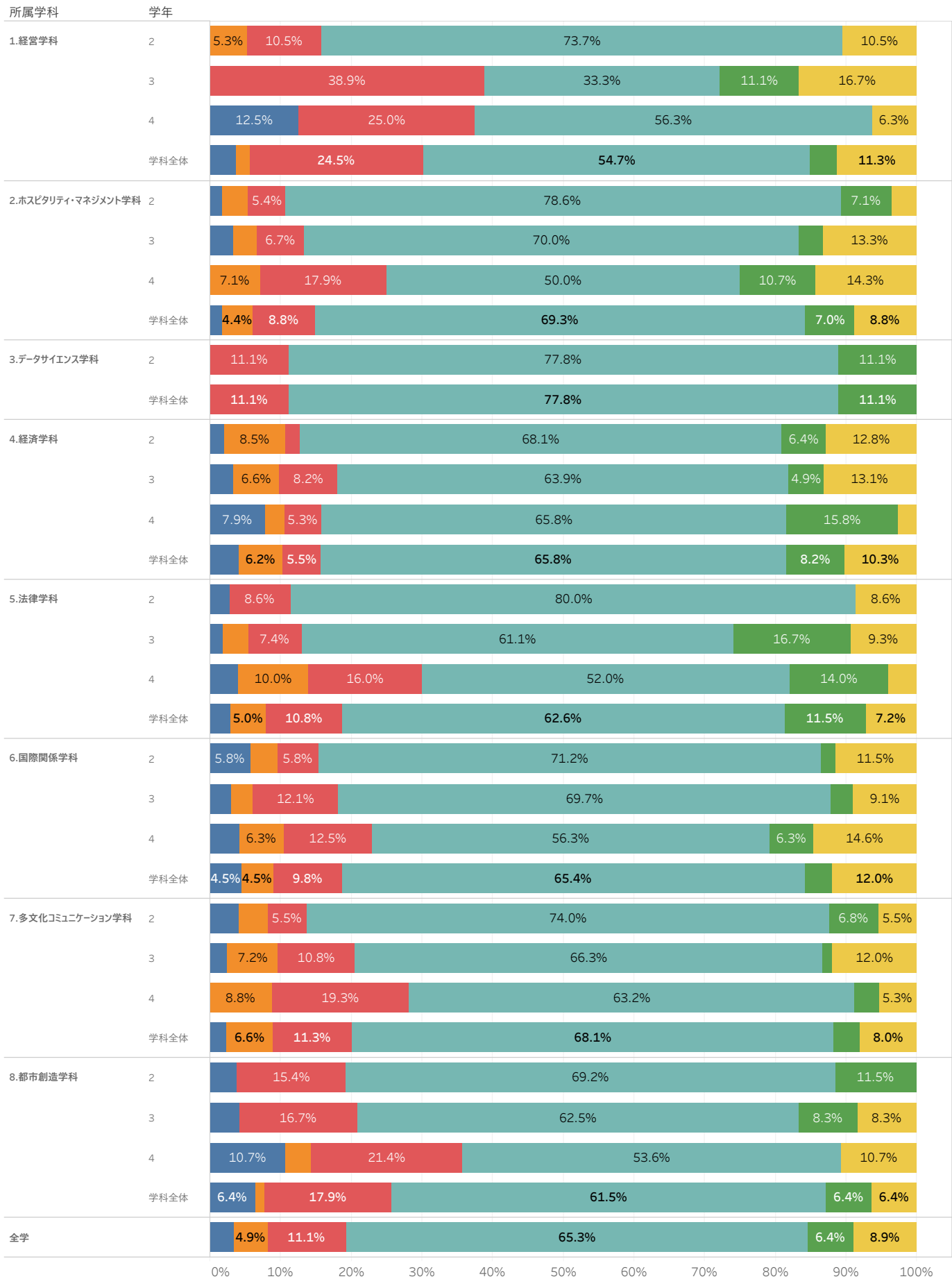
6.アルバイト・定職



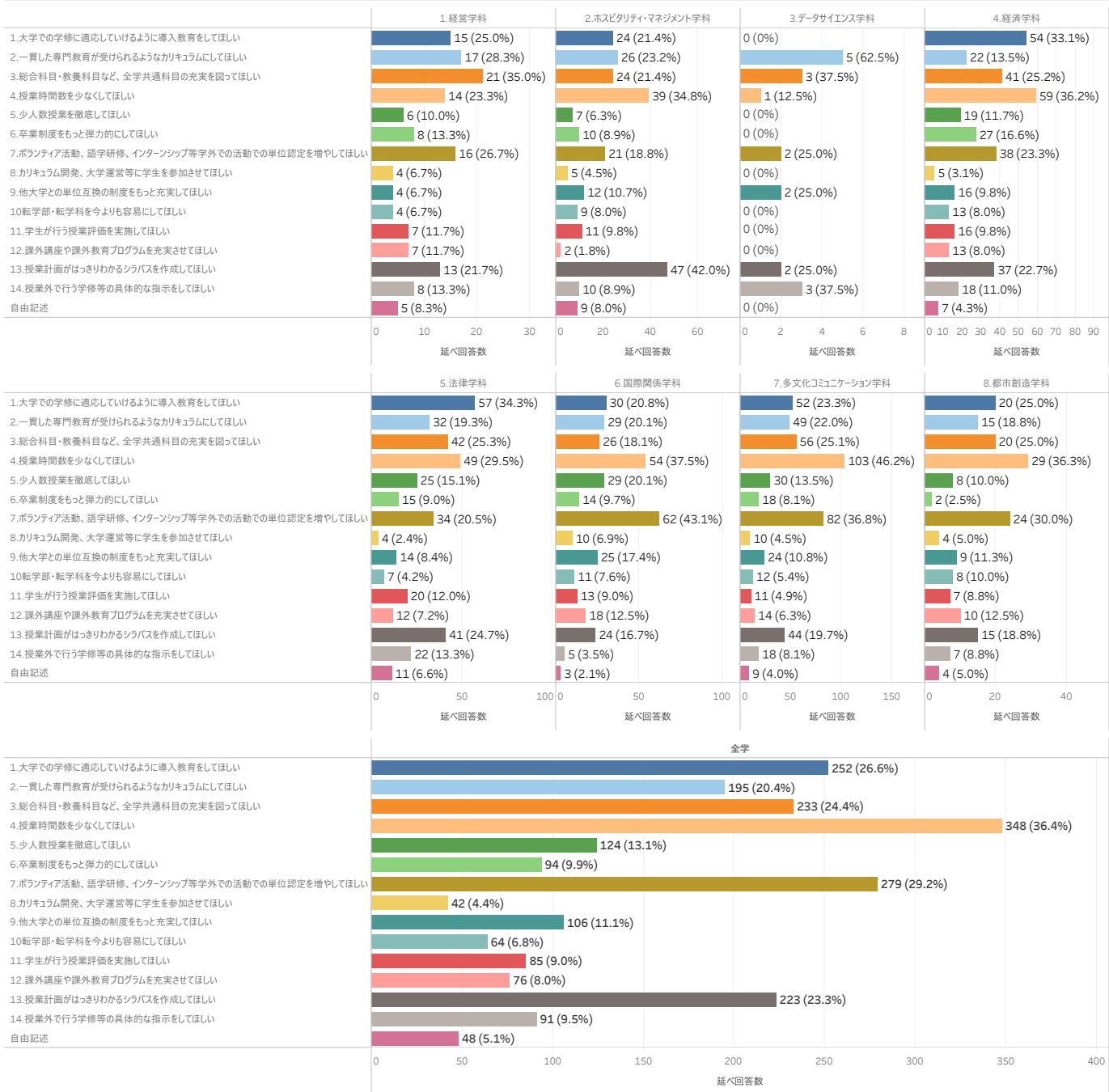
設問8. アルバイトをしている学生のみお答えください。アルバイトをする時間帯で最も頻度の多いものを選んでください。

選択肢

■ 1.早朝(5時～9時頃) ■ 2.午前(9時～12時頃) ■ 3.午後(12時～18時頃) ■ 4.夜(18時～22時頃) ■ 5.深夜(22時以降) ■ 6.不定期



設問9. 本学の教育内容や方法に対する期待や要望にはどのようなものがありますか。3つまで選んでください。（複数選択可）

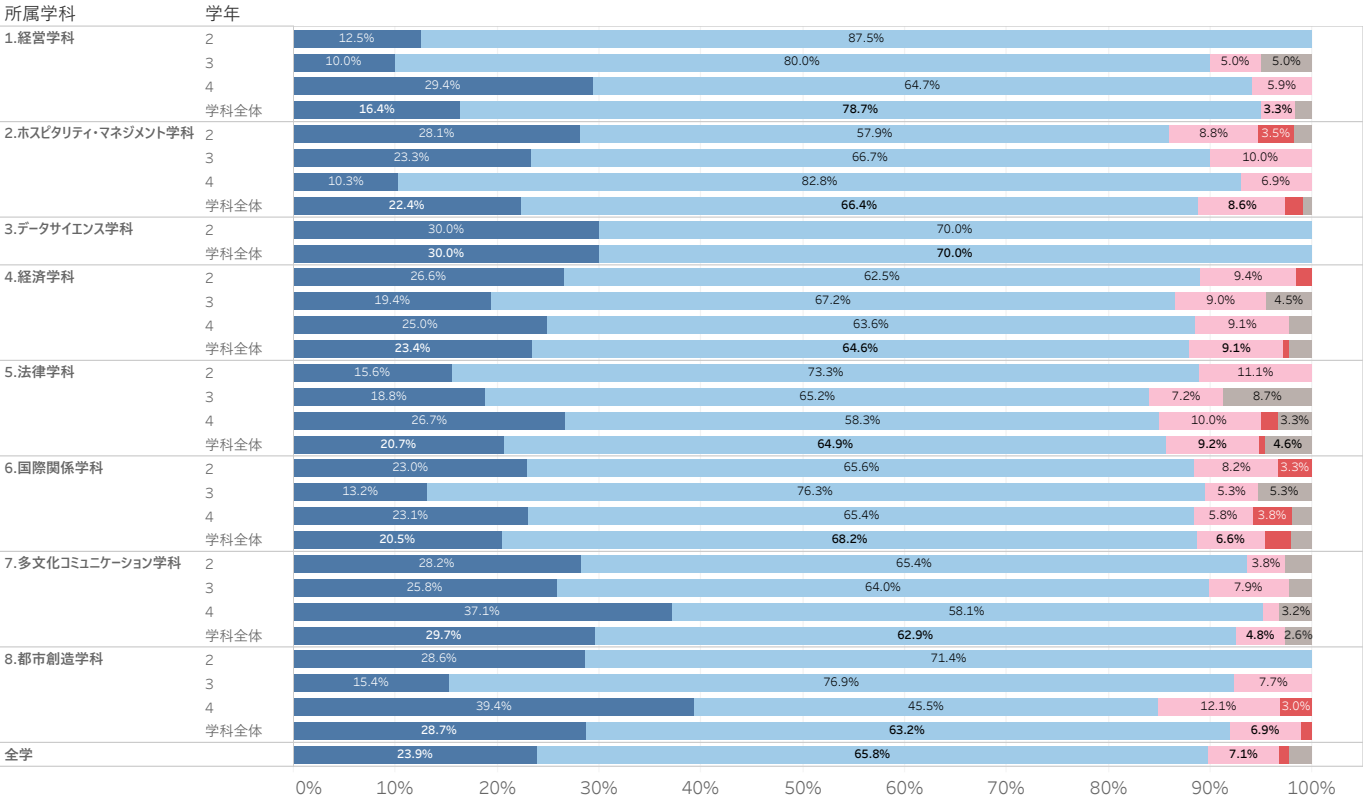


設問12. 昨年度 1 年間を振り返って、授業や大学生生活にどの程度満足していますか。

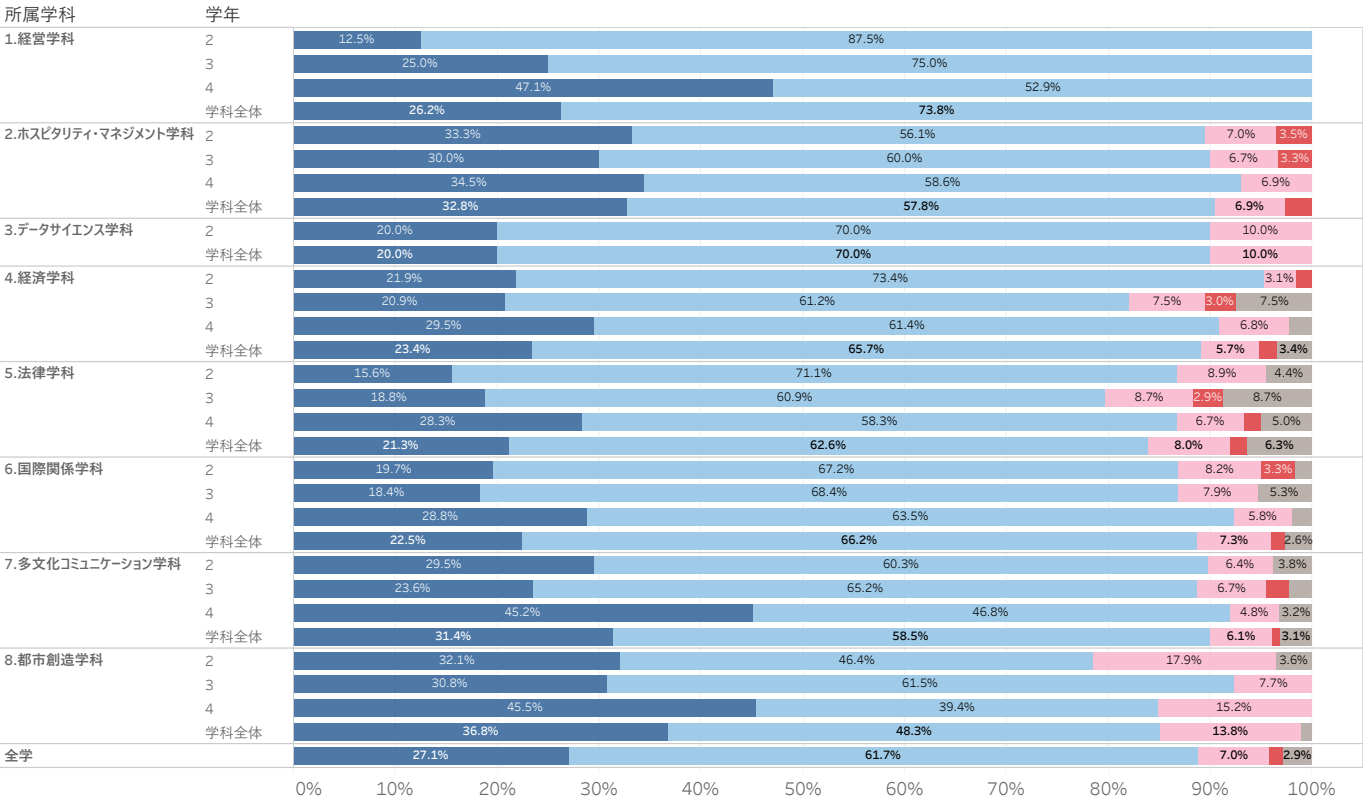
選択肢

- 1.とても満足した
- 2.満足した
- 3.不満だった
- 4.とても不満だった
- 5.どちらでもない(履修した科目はない)

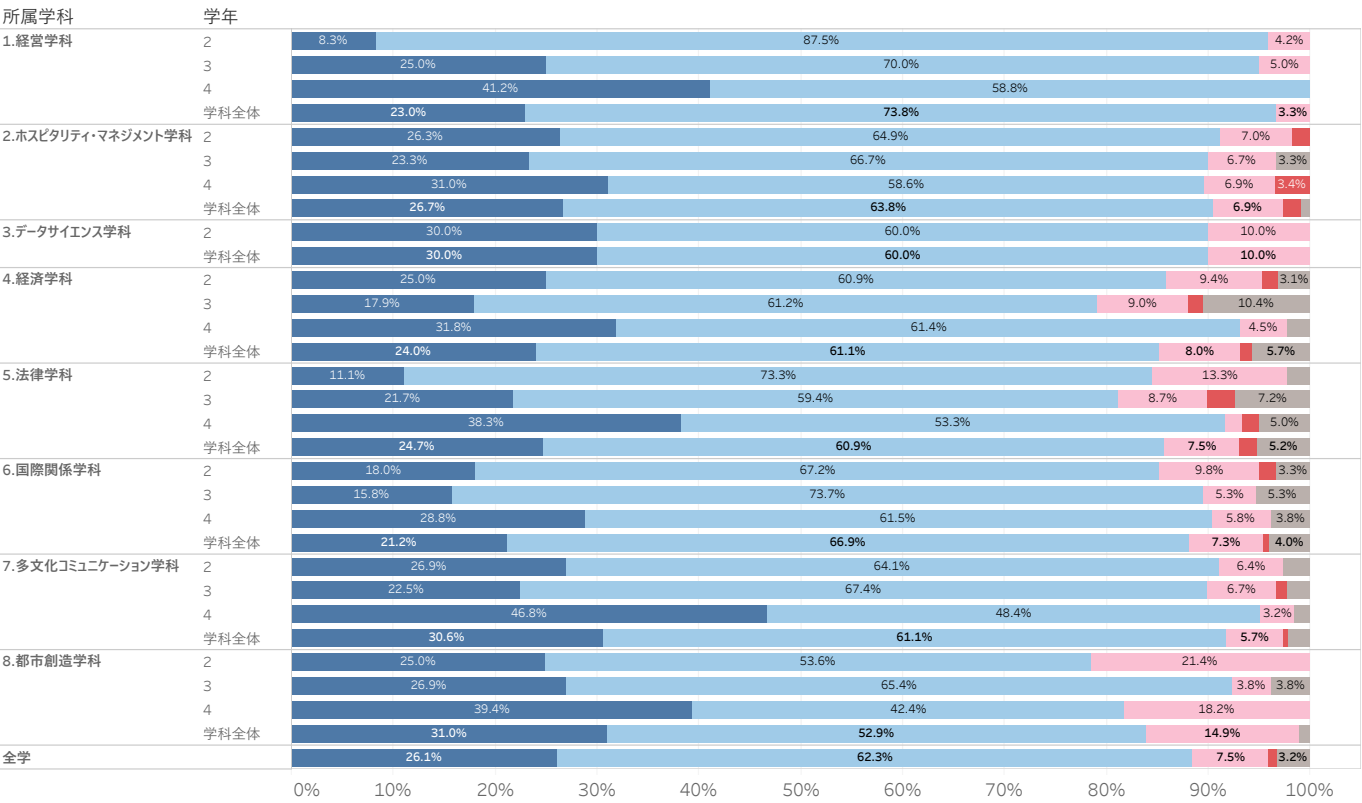
1.大学全般



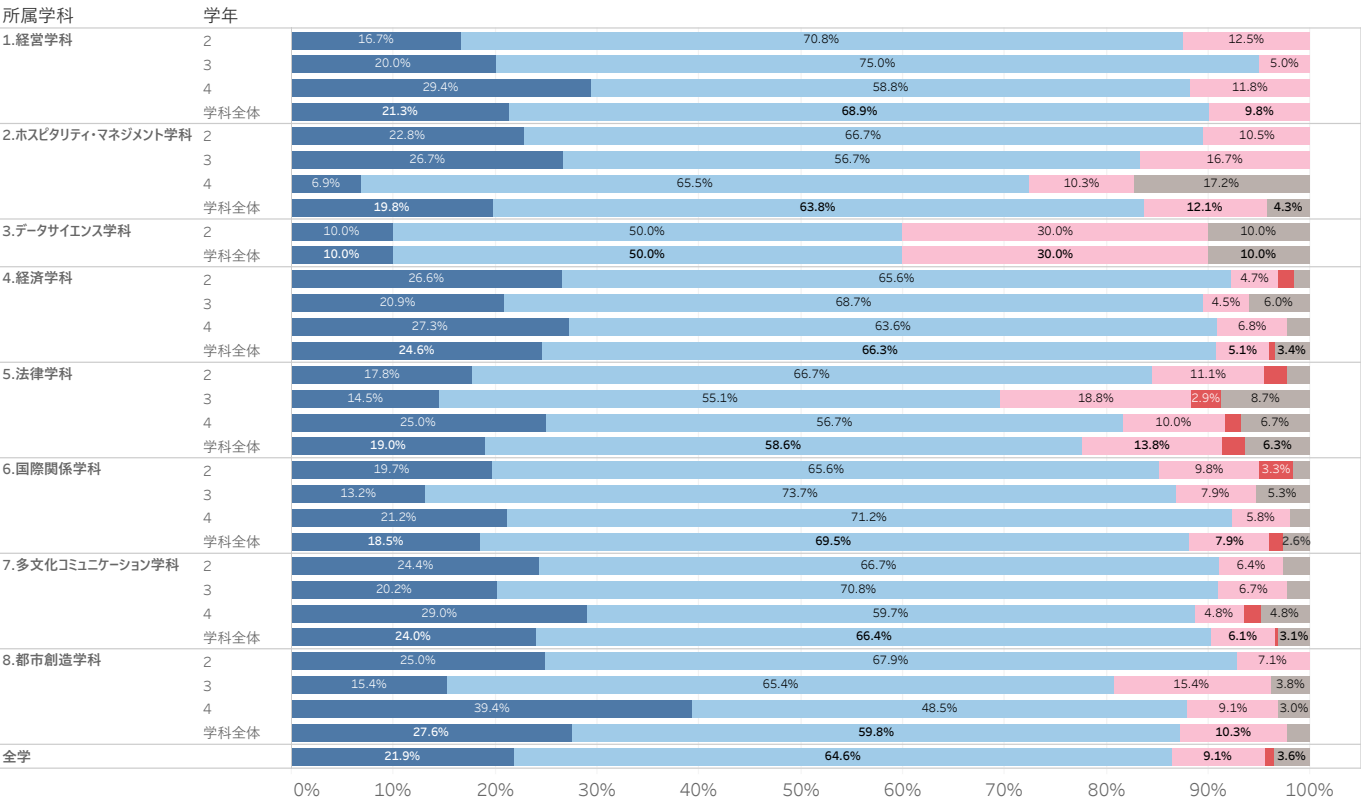
2.所属している学部学科



3.専門科目



4.全学共通科目



設問14. 昨年度 1 年間を振り返って、学習意欲は高まりましたか。

選択肢

■ 1.とても高まった ■ 2.少し高まった ■ 3.少し下がった ■ 4.とても下がった

